

# 多賀工業会 東京支部會報

2009年8月 第12号



アンダマンの夕陽

多賀工業会 東京支部

事務局 東京都文京区弥生 2-8-6 (〒113-0032)

支部長 近江 義勝方

電話 03-3811-7088 (FAX 共)

<b>報 告</b>	第 29 回東京支部総会開催のご案内 .....	1
	講演会の講師と概要紹介 .....	石川 久..... 1
	東京支部長挨拶 (第 28 回総会に当たって) .....	近江 義勝..... 2
	総会出席者名簿 .....	2
	第 28 回東京支部総会報告 .....	田中 栄太郎..... 3
	総会時の講演概要 (講師:日置 秀明氏、(株)東芝 電力システム社 原子力システム設計部の主幹) (演題:地球環境と原子力) .....	菅谷 禎男..... 4
	平成 20 年度東京支部会計報告 .....	5
	平成 21 年度東京支部予算案 .....	5
<b>随 筆</b>	嬉しくない思い出 .....	田島 廣一..... 6
	マスターズ水泳と健康管理 .....	矢野 睦男..... 7
	”感動”トライアスロン .....	栗原 功幸..... 8
	ゴルフマナーに学ぶこと .....	小林 一..... 9
	サッカーの裏話 .....	菅野 義裕 ..... 10
	能楽「金春流」との出会い .....	笹島 晃..... 11
	生涯現役人生 .....	小滝 麟太郎..... 12
	四半世紀回顧録 .....	仲澤 斉..... 13
<b>インタビュー - 記事 (活躍人訪問)</b>	海老原 雄二氏	
	予防に勝る治療なし .....	インタビューア・小林 渡..... 14
<b>支部めぐり</b>	静岡支部の紹介 .....	高田 勲..... 16
	協賛広告 .....	上野精養軒 ..... 16
<b>お知らせ</b>	会報題字変更 経緯と揮毫者紹介 .....	会報編集室..... 17
	会費納入に関する調査報告 .....	上月 秀俊..... 17
	平成 20 年度会費納入者 .....	会報編集室..... 18
	囲碁同好会 .....	田中 栄太郎..... 20
	旧制水戸高等学校と親善囲碁大会 .....	高田 丈夫..... 21
	山遊会 .....	菅谷 禎男..... 21
	ゴルフ同好会 .....	小澤 茂..... 23
	写真同好会 .....	小林 渡..... 24
	総会時写真出展者名簿と出展作品リスト .....	25
	こうがく祭写真展示会見学記 .....	石川 久..... 26
	快舞会 (ダンス同好会) .....	瀬在 城雄..... 27
	編集後記 .....	27
	多賀工業会東京支部 組織体制と担当役務 .....	28
	協賛広告 .....	大協印刷 ..... 28
	多賀工業会東京支部会則 .....	表 3
	協賛広告 .....	ソフトロニクス・サイバーリンクス・新世代加工システム..... 表 4

**表紙の説明 : アンダマンの夕陽 (撮影 2007年2月。)**

アンダマン海はマレー半島西岸のタイ、ミャンマーとジャワ島との間の海域で海と夕日の美しさで知られています。「アンダマンの真珠」と呼ばれるブーケットはリゾート地ですが、その北のミャンマーとの国境の町ラヨンで撮ったのがこの写真です。ちょうど通りかかった祭り帰りの女性を点景に夕陽の美しさを表現してみました。地震と津波からすでに復旧して静かな町の雰囲気を取り戻しているかに見えました。

三好 成實 (昭 39 学機)

# 第 29 回多賀工業会東京支部総会開催のご案内

1. 日 時 平成 21 年 10 月 17 日 (土) 午後 3 時から  
 2. 場 所 上野精養軒 (右図参照)  
 東京都台東区上野公園 4-58  
 電話 03-3821-2181 (代表)

## 交 通

- : JR 上野駅公園口下車徒歩 5 分
- : 京成線京成上野駅下車徒歩 5 分
- : 東京メトロ銀座線日比谷線上野駅下車  
西郷隆盛像から徒歩 5 分

3. 会 費 10,000 円 (当日受付にて申し受けます)

4. 総 会 午後 3 時 ~ 午後 4 時

5. 講演会 午後 4 時 ~ 午後 5 時

演題「光ファイバ通信の現状と今後の動向」

講師 堀口 正治 (昭 44 学 子) 氏  
 茨城工業高等専門学校講師  
 工学博士

講師略歴等は下記をご覧ください。

6. 懇親会 午後 5 時 00 分 ~ 7 時ごろまで

7. 写真展 総会の会場内に展示します。

(写真部員以外の会員からの出展をお待ちしております)

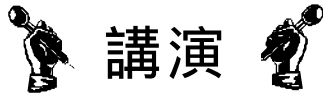
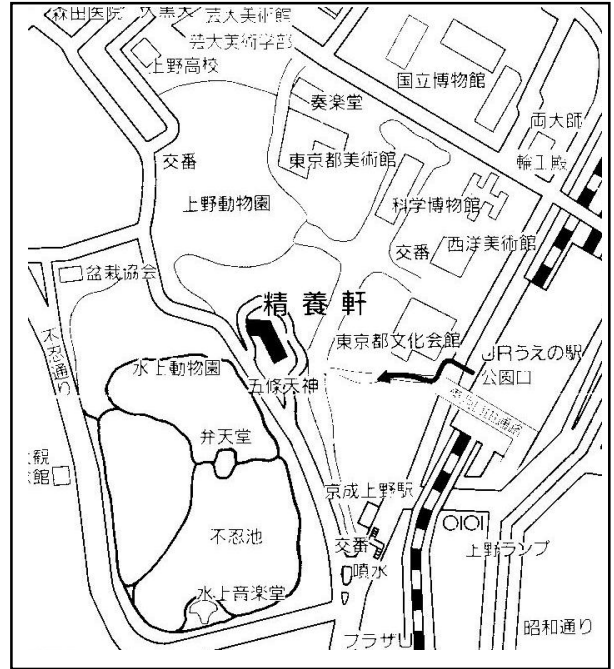
8. お願い 出欠のご返事は 10 月 2 日 (金) までに同封のハガキにてお願いします。

なお、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費 2,000 円をお振込みくださるようお願い申し上げます。

9. お問い合わせ先

駒場 方耀 (昭 38 学機) TEL : 042-665-8387

広瀬 行一 (昭 38 学電) TEL : 0297-78-8737



## 講演

講師：堀口 正治氏

(昭 44 学 子、46 院 子)

茨城工業高等専門学校講師  
 工学博士

## 演題と講演概要

### 「光ファイバ通信の現状と今後の動向」

#### ～ その歴史的発展と今後の課題 ～

1960年にレーザが発明されて以来、1970年代に入り相次いで低損失光ファイバと室温連続発振の半導体レーザが開発された結果、光ファイバ通信実現の可能性が見出されました。そして、講師らの研究努力により、光ファイバによる極めて低損失で大容量の光伝送波長帯が開発され、世界中に光ファイバ通信網が構築されました。光ファイバ通信が今日のインターネットの繁栄に繋がる多大な貢献をしていることは会員の皆様の広く知るところであります。

講演では光ファイバの基本的な概念と特徴に始まり、光ファイバ技術の歴史的な発展過程においてターニングポイントとなった技術革新を解説し、そのなかで、講師が研究された「光ファイバ伝送における長波長帯の開拓」についてその一端を紹介してもらいます。

さらに、FTTH(Fiber To The Home) やNGN(Next Generation Network)構想など、光ファイバ通信とインターネットのかかわりについて今後の動向と課題についても言及し、結びとする予定です。

〔紹介者：石川 久 (昭 44 学 子) 〕



## 講師情報

経歴：元 NTT 光エレクトロニクス研究所  
 主幹研究員

趣味：旅行、写真、  
 ゴルフ、将棋

賞：IEE 最優秀論文賞、電子通信学会業績賞、科学技術庁長官賞他

会報：本誌第 8 号  
 (2005 年 8 月発行)  
 活躍人訪問に登場

# 第 28 回東京支部総会 支部長の挨拶

支部長 近江義勝 (昭 28 学電)

本部より木曾 正明(昭 29 学電)副会長、また北は仙台、南は中部支部の幹事諸兄にご参加頂き有難うございました。厚く御礼申し上げます。総会に先立ちまして本年不幸にして他界されました 16 名(工専 13 名、学部 3 名)の諸兄に黙祷を捧げたいと思います。・・・(黙祷)・・・

今年は異常気象、石油高騰、年金問題、金融不安な一年でした。

会報 11 号で原動 19 年卒の藤田先輩から“ 吼洋寮歌の 3 番と 4 番の歌詞の順序が逆になっているのではないか ” とのご指摘がありました。

これに対して早速金属 19 年卒の福水先輩から下記のようなお手紙を頂きました。

「昭和 17 年入学時にレコードが発売されています。その時の歌詞も現在と同じです。“ 大学に変

わった頃に順序を間違えられたのではないか ” との問ですが、昭和 17 年当時から現在の通りです。」

東京支部の現況を申しますと、本日出席予定者は昨年より 10%UP の約 90 名です。総会出欠葉書を出してくれた人の数は昨年より 36 名少なくなりました。また年会費納入は本日までのところ、昨年より 10%少ない状況です。尚一層のご協力をお願いいたします。

本日は楽しく語り合い、飲みましょう。これをもってご挨拶といたします。



## 総会出席者 : (敬称略)

### <来賓> 9名

木曾 正明 本部 副会長 (昭 29 学電)	滝 宏 栃木県支部 支部長 (昭 33 学原)
檜山 邦良 千葉県支部 支部長 (昭 30 学機)	相原 一彦 仙台支部 副幹事長 (昭 54 学機)
上田 正雄 埼玉支部 支部長 (昭 37 学電)	菅谷 伸夫 中部支部 幹事長 (昭 45 学機)
内山 岩男 水戸勝田支部 支部長 (昭 30 学電)	木曾 正明 兼務 日立総合支部支部長代理
高田 勲 静岡支部 支部長 (昭 37 学機)	

### <会員> 74名

田邊 良美 (昭 17 専金)	玉川 信二 (昭 28 学電)	阿部 徳治 (昭 37 学化)	大泉 雅靖 (昭 40 学精)
依田 連平 (昭 17 専金)	藤田 史郎 (昭 28 学電)	小林 一 (昭 38 学機)	堀野 州男 (昭 40 学精)
菅原 庄一 (昭 18 専機)	照沼 清 (昭 29 学金)	駒場 方耀 (昭 38 学機)	青野 潔 (昭 41 学化)
宮崎 至誠 (昭 18 専機)	佐藤 久弥 (昭 30 学機)	中村 好秀 (昭 38 学機)	高橋 徹男 (昭 41 学精)
山田 実 (昭 18 専金)	石川 英二 (昭 30 学原)	兼子 八郎 (昭 38 学電)	菅谷 禎男 (昭 42 学機)
朽本 二郎 (昭 19 専原)	鈴木 日出男 (昭 30 学原)	小林 渡 (昭 38 学電)	下ノ村 勇 (昭 42 学精)
藤田 勲 (昭 19 専原)	三本木 武 (昭 30 学金)	橘 弘 (昭 38 学電)	遠藤 義和 (昭 43 学機)
柳田 裕美 (昭 19 専精)	瀬在 城雄 (昭 31 学原)	寺内 賢一 (昭 38 学電)	後藤 豊弘 (昭 43 学電)
田島 廣一 (昭 20 専精)	山崎 慎一郎 (昭 31 学原)	広瀬 行一 (昭 38 学電)	小澤 茂 (昭 43 学子)
幸道 貞一 (昭 22 専通)	國井 榮次 (昭 32 学機)	海老原 雄二 (昭 38 学金)	鈴木 弘道 (昭 43 学子)
飯島 公正 (昭 23 専原)	矢野 睦男 (昭 32 学原)	白石 道彦 (昭 38 学化)	石川 久 (昭 44 学子)
斉田 耕平 (昭 23 教電)	田口 嘉男 (昭 32 学電)	高木 二郎 (昭 38 学化)	堀口 正治 (昭 44 学子)
小峰 弘 (昭 24 専舶)	田崎 耕八 (昭 32 学電)	磯部 亮 (昭 38 学精)	小滝 麟太郎 (昭 45 学電)
渡邊 貢 (昭 26 専原)	山下 正明 (昭 32 学電)	黒羽 昇 (昭 38 学精)	飯塚 英一 (昭 46 学電)
菊地 玲二 (昭 26 専通)	粕谷 宏夫 (昭 34 学原)	矢嶋 國男 (昭 38 学精)	高田 洋 (昭 47 学機)
高田 丈夫 (昭 28 学機)	高野 久弘 (昭 35 学機)	三好 成實 (昭 39 学機)	日置 秀明 (昭 47 学機)
小白井 和典 (昭 28 学機)	上月 秀俊 (昭 36 学機)	原 俊彦 (昭 39 学電)	東 學 (平 08 院生)
柳沢 裕 (昭 28 学原)	小宅 仁 (昭 36 学電)	佐藤 道夫 (昭 40 学機)	
近江 義勝 (昭 28 学電)	上田 正雄 (昭 37 学電)	田中 栄太郎 (昭 40 学化)	

# 第 28 回東京支部総会報告

田中 栄太郎 (昭 40 学化)

東京支部総会は、10月11日(土)午後3時から予定の19時まで、上野精養軒で開催されました。当会本部副会長の木曾正明氏をはじめ、他支部(水戸勝田、仙台、栃木、埼玉、千葉、静岡、中部、日立総合)代表の方々をご来賓にお迎えし、出席者総数82名となりました。ご来賓の方々には遠路はるばるのご出席、誠にありがとうございました。(出席者名簿は前ページに掲載。)  
以下に、本会内容概略を記載します。

## 第 1 部 総会 (15 時 ~ 16 時)

大泉雅靖(昭 40 学精)氏の司会で、開会の辞、近江支部長挨拶、来賓祝辞(代表して木曾副会長にお願いしました)に続いて当支部役員による年間行事、同好会活動報告および会計報告等が行われ、年度予算案は全会一致で承認されました。

## 第 2 部 講演会 (16 時 10 分 ~ 17 時)

現役の日置(へき)秀明(ひであき)(47 学機)氏による演題「地球環境と原子力」という講演が行われました。

人類が直面している地球環境問題と、必要エネルギー - 需要への対策を、各方面から調査、研究した結果、一時後退していたかに見えた原子力発電への更なる期待が高まっているとのことで、最近の原子力技術に関する興味深い知識が披露されました。(概要は次ページに掲載。)

## 第 3 部 懇親会 (17 時 10 分 ~ 19 時)

地下講演会場(ホール銀杏)から、二階の宴会場に席を移動して開催されました。卒業年度の近い人々ごとにテーブルを囲み、大いに飲み、語り合いの場を持つことが出来ました。

今回の幹事当番は、39年組以降の会員でしたが、38年組以前の先輩諸氏の並々ならぬご支援により、実施できたと感謝しています。

恒例の写真展は、どれもすばらしく、レベルの高い作品と評価された方が多数おられました。

(作品出展者名簿は 25 ページに掲載。)

来賓のご挨拶



工専から大学への変革期の皆さん



昔取った杵柄 大先輩が手旗信号を披露



懐かしい寮歌で意気投合



# < 総会時の講演概要 >

## 地球環境と原子力

講師 : (株)東芝 電力システム社  
原子力システム設計部の主幹  
日置 秀明 (昭 47 学機)

### 講師紹介

所属学会 : 日本機械学会、日本原子力学会

趣味 : 料理、囲碁、ゴルフ、旅行、陶芸(2007年青山表参道のプロモ・アルテギャラリーにて個展開催)



紹介を受ける講師

紹介者 : 菅谷 禎男 (昭 42 学機)

### 紹介者から

脱原子力政策を掲げていた西欧諸国が CO2 他の温室効果ガスによる地球温暖化に対処すべく、太陽光発電、風力発電に加え、現状で最良の解決策として、原子力発電を見直す中での講演でした。総会参加者の関心も高く、(株)東芝で原子力事業に直接かかわっている日置さんによる原子力安全利用に結びつく内容について、講演後、皆様から多数の質問がありました。

### 講演要旨

#### 1、はじめに

多くの文明が芽生え、栄え、滅びてきた。産業革命以前の地球では、たかだか数億人前後の人々が自然エネルギー、自然農耕業の元で暮らしていた。18世紀以降の化石燃料の活用による産業革命で、爆発的な人口増加、エネルギー需要増加が起こった。エネルギーの元となる資源はその量のみでなく、質が重要である。この観点から、得られるエネルギーを取り出すのに必要なエネルギーとの比であるエネルギー収支比 = EPR での考え方が提唱されている。

#### 2、地球環境

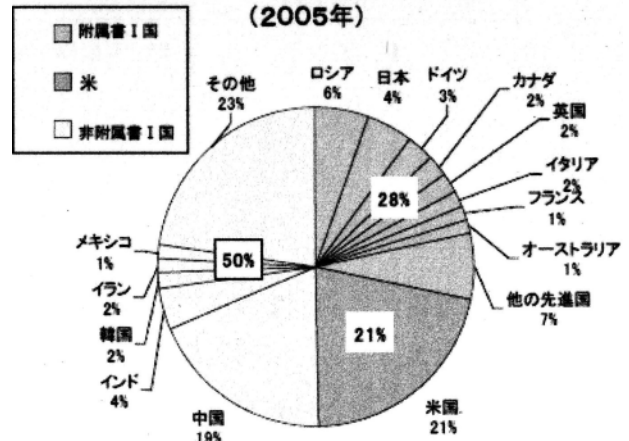
人口の増加、エネルギー消費量の増加により、地球温暖化が進みつつある。元来、地球史的には氷河期と間氷期が繰り返されてきたが、今回の温暖化はそれを越えるものと捉えられている。この原因は、CO2 他の温室効果ガスによるものとされ

ている。これに対応すべく"京都議定書"を定め、地球温暖化対策を講じているが、米国や中国等の CO2 の大量放出国が参加していない問題がある。特に、エネルギー起源の CO2 放出低減のためには、化石燃料の消費を抑え、再生可能エネルギーや原子力発電を増やす必要がある。

#### 3、原子力

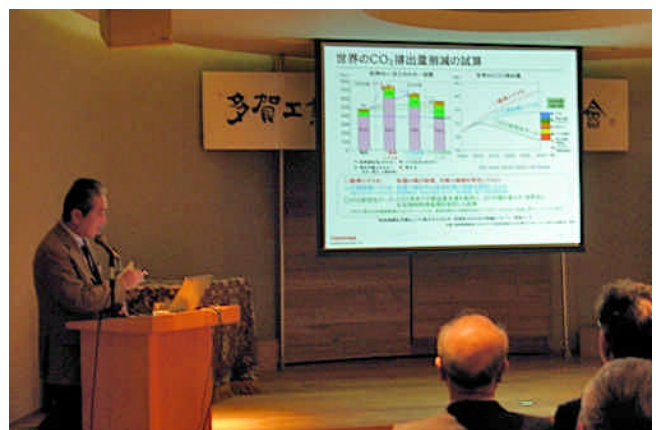
原子力発電は 1960 年代に世界に登場し、期待のエネルギー源として世界に広まった。このため、ウラン資源の枯渇対応として早期から高速増殖炉の開発が行われてきた。1979年の米国のスリーマイルアイランド事故、旧ソ連のチェルノブイリ事故により、世界の原子力発電にブレーキが掛かった。この間、日本では着実な建設・運転を進め世界をリードするまでになってきている。現在(2008年1月時点)、世界の原子力発電所は、435基3億9千万kWが運転中、43基3千9百万kWが建設中、53基4千9百万kWが計画中である。この様に、地球環境問題、エネルギー需要の大幅増加、化石燃料の高騰等から原子力発電への期待が高まっている。これらの動きは「原子力カルネッサンス」と呼ばれている。

世界のエネルギー起源二酸化炭素排出量 (2005年)



(出典)IEA

(注)EU15ヶ国の排出量が世界に占める割合は12.5%。



平成20年度多賀工業会東京支部会計報告

収入の部

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位：円)

費目	20年度予算	実績	予算比	摘要
年会費	600,000	556,000	△ 44,000	216名278口
本部援助金	235,400	235,200	△ 200	
総会会費	800,000	820,000	20,000	来賓8名+会員74名
広告料	40,000	55,000	15,000	前年比2件増
寄付・利息・雑収入	-	24,695	24,695	寄付22,000、利息1,215、他
前年度繰越金	964,874	964,874	0	
合計	2,640,274	2,655,769	15,495	

支出の部

総会費	750,000	741,726	△ 8,274	
総会+冊費+懇親会費		693,000		
その他諸費用		48,726		
会報費	550,000	455,410	△ 94,590	
会報等諸印刷費		315,420		第11号1,800部発行
会報配達費		142,010		発送部数1,258部(クロネコ便)
編集雑費		37,990		
会議費	100,000	75,550	△ 24,450	定例幹事会4回
交通費	185,000	110,640	△ 74,360	
本部・支部総会参加交通費		91,420		本部・8支部
一般交通費		19,220		幹事会他
交流費	250,000	220,272	△ 29,728	
本部・支部総会参加会費		80,000		本部・8支部
同好会振興		140,000		4支部毎ゴルフ、支部内の同好会へ
雑費		40,272		レンタルサーバー代、通信費、資料代
繰越金	805,274	1,052,171	246,897	繰越金は銀行口座 ¥1,038,872 及び 貯蓄口座 ¥14,300 手元現金 ¥3,149
合計	2,640,274	2,655,769	15,495	

以上の通り報告致します。  
平成21年3月23日

会計幹事

上月 秀俊



監査の結果上記に相違ない事を認めます。  
平成21年3月30日

監事

棚原 慶夫



監事

小宅 仁



平成21年度多賀工業会東京支部予算案

収入の部

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(単位：円)

費目	21年度予算	前年予算比	摘要
年会費	600,000	0	年会費2,000×300名目標
本部援助金	235,500	△6,900	本部3%減計画前
総会費	800,000	0	会費10,000×80名目標
広告料	55,000	15,000	4件確保
前年度繰越金	1,052,171	87,397	
合計	2,745,671	95,397	

支出の部

総会費	750,000	0	前年並参加者目標
会報費	600,000	50,000	第12号：A4版28頁→12頁～；1300部
会議費	100,000	0	
交通費	185,000	0	本部・9支部総会へ参加、昨年度に
交流費	250,000	0	
次年度繰越金	850,671	45,397	
合計	2,745,671	95,397	

# 嬉しくない思い出

田島 廣一（昭 20 専精）

今年の二月十九日に東京支部会報の掛かりの方から「内容は何でも良いから寄稿文をお願いしたい」との電話がありました。急なことで驚き考えましたが、自身の健康について少しでも皆様の参考になればと思い筆を執りました。



## 八十を超えるまで内臓の施術を受けた事なし

私は生来丈夫で病と言っても風邪くらいで、内臓の施術などはこの八十を越える歳まで一度も受けたこともない人間でした。

ところが六十歳(1986 昭和 61 年)の定年を過ぎ、七十を少し越えた頃から、定年後(社)日本測量協会に勤めていて通勤で4~6kmを歩いていたのですが、その途中胸が僅か痛みだして、しかし少し経過するとその痛みもなくなり平常に戻ることが毎日のように繰り返しました。でも前述のように健康には自信がありましたので、それ程気にもせずにおりました。その頃には近くの医者にも通っていて血圧が少し高くその薬も服用していました。

その後ネパール・中国などの旅行や国内旅行また埼玉支部のワンダーフォトクラブへの参加、また5~6km程の散歩など多くの脚を使う運動をしてきたつもりでした。

## 高野山で胸の痛み激しく歩行困難に

しかし困ったことは急に起こりました。それは2006年4月高野山・熊野三山に行った時のことで、ここは登り下りの多い所で結構石段があり、その途中で胸の痛みが激しくなり休みながらでないと歩行困難となりました。この状態になっても医学の知識のない者は仕方ないもので特に心臓による痛みではないと思っていました。

## 狭心症と診断されて直ぐ入院

その後帰宅して近くの掛かり付けの医師に相談したところ、病院で精密な検査をする必要があると言われ、近くの総合病院で検査を受けたところ「狭心症で直ぐに入院」と宣告されたのでした。九月四日に入院しても外科には空き部屋がなく十日程内科の病室で検査などをして過ごし、その間

非常に丁寧に扱われ少しでも激しく動くことは禁じられ、入院前の自分には考えられないような扱いでした。今となって考えれば、医師の立場からそれほど危険状態と考えられたのでしょう。

その後九月十四日に施術するまでの期間、検査・施術の説明などあり、執刀の医師より施術内容の説明で、心臓の冠状動脈の血管に数カ所閉塞があり、閉塞が少数の場合は薬やカテーテルによる治療を優先して行うが、多数認められた場合には冠動脈にバイパスを作る施術による治療が勧められるとの説明でした。

## 心臓の冠動脈にバイパスを作る施術



その結果バイパス施術を行うことになりました。施術そのものは全身麻酔で行いますから、特に苦痛などはなかったのですが、その後の集中治療室での処置とりハビリの期間に約2週間掛かりました。

以上前兆から施術の過程を述べてきましたが、当然のことながら病気になり施術することなどは誰も好むことではありません。

## 早めに前兆に気付いて手当を!

後で思ったことですが、一般に言われている様に早めに前兆に気付く手当することが大事なことだと思います。

私のように健康だと自信をもっていて手遅れにならぬようお互い注意することです。

既に定年を迎えられておられる方も多いと思います。私の同級の人々も年々欠けていきます。過度に自分の健康に自信をもたず、医師に診てもらいながら、多賀工業会のような同窓会で活躍または同好会に参加されることも良いのではないのでしょうか。



## 著者プロフィール

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 1945年 | 多賀高等工業精密機械科卒            |
| 1949年 | 東京大学地震研究所坪井忠二研究室に採用さる   |
| 1975年 | 理学博士を授与さる               |
| 1986年 | 同研究所を定年退職               |
| 同年    | (社)日本測量協会の技術開発部の業務を委嘱さる |
| 2001年 | 同協会を辞任する                |

# マスターズ水泳 と健康管理

矢野 睦男（昭 32 学原）

## 水泳との出会い

私が幼少期を過ごした故郷長崎の港外に俗称ネズミ島と言う周囲 1km 程度の小島が有り、そこで夏休みの期間だけ小堀流の水泳を教える遊泳協会があった。県衛生部の技官だった父は検診のため県内の島々を船で廻ったが、全くの金槌であったため恐怖にさらされたようだ。結果として子供達にはその恐怖を味合わせたくない、全員その遊泳協会に通わされ水泳を習得させられた。私も例外ではなく、小学 4 年生の時と中学 2 年生の時の 2 回、夏休みの期間だけが通い小堀流の泳法を習得した。段位を取るには至らなかったが、塾生としては丁 1 班に始まり最上位の甲 3 班まで進級できた。

小堀流の水泳は、スピードは問題ではなく見せる水泳で、御前泳ぎ（殿様に見せる泳ぎ）とか水書（立ち泳ぎで左手に持った板に書を書く）とかが重要視されていた。特に手を上げ肩まで出して泳ぐ立ち泳ぎには難儀し 30 分も泳ぐと砂浜に上がっても腿が疲労で立てないほどだった。

## プールでの水泳

成人してからは年に 1~2 回海水浴に行く程度で、水泳からも遠ざかっていた。還暦近くになり静岡県の榛原町（現在の牧之原市）での勤務となり、単身赴任したが、通勤するのに公共交通機関が無くドアツードアのマイカー通勤となった。これでは運動不足から成人病になると思い、すぐにスポーツクラブに入社後通うこととした。

スポーツクラブでは筋肉トレーニング 30 分、持久力トレーニング（エアロバイクなど）30 分、プールでの水泳 30 分を日課とした。プール（淡水）での本格的な水泳はこの時が初めてで、幼少期に覚えた小堀流の水泳が役に立ち平泳ぎは何とか泳げたが、まわりが泳ぐクロールは残念ながら 25m も泳げなかった。

それまでスポーツとは殆ど縁が無かったが、このスポーツクラブ通いで目が覚め、60 歳の時 10km のロードレースに参加し、50 分 13 秒で走りきることが出来た。48 人中の 34 位だったが、青年・壮年期をノン・スポーツで過ごした私としてはまずまずの成績だったと思う。

## マスターズ水泳競技会

マスターズ競技とは、水泳に限らず陸上でも 5 歳刻みの年齢区分による競技で、同年配の方々と力を競い合うことが出来る。世界規模の競技会もあるが、日本では日本マスターズ水泳協会が主催または公認する水泳競技会が日本全国で行われて

いる。登録会員はどの会場にも参加することが可能だ。また、一部の長距離種目を除いては遅いから駄目だなんて断られることも無い。

近年日本人の高寿命化にともない高齢日本人の世界記録保持者が増えている。



競技会で平泳ぎ力泳中

## マスターズとの出会い

約 3 年間の地方勤務を終え、東京に戻ってからは 66 歳でリタイアするまでは通勤だけで運動量は十分だったのでスポーツからも遠ざかっていた。その代わり通勤途中エスカレータは利用しないように心がけ、1 日 1 万歩をこなしていた。

リタイア後通い始めたスポーツクラブで、おだてられてクラブ内の水泳競技会に出場した。しかしチャレンジした 100m 平泳ぎで、25m も離され恥をかく羽目となった。それから初心に戻り、コーチに基礎から教わり、70 歳からマスターズ水泳競技会に年数回参加し泳いでいる。しかし、子供の時に身につけた、平泳ぎはまだしもクロールでは 50m も泳ぐと息が上がってしまう。また、バックやバタフライでは筋肉質のためか足が沈みまだ満足に泳げない現況だ。

ベスト記録は 72 歳の時に出した 25m 平：20 秒 57、50m 平：46 秒 65。その後は加齢と共に遅くなる一方だが、目標を持って泳ぐことを楽しみに週数回クラブに通い、体力の維持に努めている。競技会では競技生活を若い時から続けている人とは勝負にならず、運が良ければ 3 位に入れる。

週 3~4 回の水泳、月 1 のゴルフ、年 3~4 回の山登りのお陰か、体脂肪率：10~15%、医者と薬には無縁の生活、90 歳まで元気に泳ぎ続けられればマスターズ水泳での金メダルも夢では無いと淡い希望を持って、プールに通っている。

## 著者プロフィール

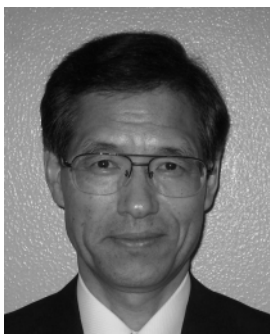
昭和 32 年 日機装（入社時は別社名）に入社  
以降原子力・火力発電所の水質調整装置の設計・製造に従事、東村山製作所長の後、関連会社の日機装 Y S I 勤務を経て 66 歳でリタイア。  
現況：ボケ防止にボランティアでパソコンを教えたり、ホームページを制作して過ごす。  
東京支部ホームページ編集室長

# “感動” トライアスロン

栗原 功幸（昭46 学子）

## 1. 選暦のアイアンマン

トライアスロンレースの競技者はアイアンマンと呼ばれている。私がこのレースに参加し始めてもう20年になる。昨年平成20年12月には、60歳のアイアンマンに晴れて仲間入りできた。70歳80歳代のアイアンマンも珍しくないが、私にとってひとつの目標に到達した。



## 2. トライアスロンとの出会い

私の記憶では、確か二十数年前のテレビに流れたニュースで、初めてトライアスロンという競技を知った。それは、ハワイのどこかの島で軍人の発案がきっかけでこのレースが始められ、数年前から毎年続いているというものであった。

その画面では、泳いで、自転車をこいで、走ったあとゴールに向かっていく姿が映し出されていた。その距離は、実に水泳（スイム）3.9Km、自転車（バイク）180Km、マラソン（ラン）42.195Km、トータル226Kmにも及ぶ信じられない長い距離だと云う。その信じられない距離を、なんと数年後に私自身が完走してしまうのだから、我ながら驚きだった。

## 3. トライアスロン挑戦のきっかけ

当時、健康のためランニングは続けていた。

トライアスロンの存在を知ってから、自分には可能なのか、できれば挑戦してみたいという気持ちが芽生えてきた。というのも、茨城大学水泳部に4年間在籍し、水泳には絶対的自信があったこと、自転車は家庭用自転車に乗っていたこと、ランはフルマラソンの経験はないが毎週1回程度のトレーニングを続けていたことから、練習を積み重ねれば私にもいつかは完走できるという思いが育っていった。



幸い、日本においてもトライアスロン大会が全国各地で急激に増えてきた。そしてレースのタイプも、初心者に参加し易いオリンピックタイプ（ショートタイプ：S1.5Km・B40Km・R10Km）やミドルタイプ（S2Km・B90Km・R21Km）と種類が増え、参加の機会が増してきた。

## 4. 「30歳代で大会初参加」を目標

準備をせず、いきなり参加するという無謀なチャレンジは避け、練習を積み、まず30歳代で大会初参加・完走を目標に掲げ準備を進めた。

トライアスロン完走という夢を実現するための近道は、「周囲に公言」し自分を追い込むことだ。これはしばしば仕事でも使用する手法で、その実現のハードルが高いほど自分にプレッシャーがかかってくる。残された期間はあと2年、それ以来自転車を購入し、トレーニングに励んだ。

## 5. 土・日曜に集中練習

練習時間が大変だ。何しろ1種競技の3倍の時間が必要で、休日は練習中心の生活になる。朝、B40Km走行、昼プールで2Kmの遠泳、夕方、10Kmのランを一日でやりこなす。ただ、大会では、これを連続休みなく走りきるため、トレーニングで鍛えることが必要だ。

## 6. 39歳で大会初参加

目標通り39歳の夏、潮来トライアスロン大会（ショートタイプ）にエントリーし、見事完走できた。初参加のため、レース配分が分からない中、足がつりつらい初レースだった。しかし、このときのゴールの感動が実に爽やかで素晴らしく、心を充実感・満足感で一杯にしてくれた。そのとき以来20年間、この満足感に浸りたいという一心でレースに参加している。この時は2時間24分と、いまいちの記録だった。

## 7. ロングタイプトライアスロンの完走

毎年2,3のレースに参加するにつれて、競技者として自然に、最長のレースに出てみたいとの思いが強くなってきた。その後距離を伸ばしミドル大会、ロング大会へと参加するようになった。

ロング大会では、佐渡大会が印象に残っている。S3.9Km、B184Km、R42.195Km合計230Kmを13時間40分で完走した。この日、朝7時にスタートし、佐渡島をバイクで1周し、マラソンのあと、ゴールは実に午後9時前。よく半日以上も走り続けられたものだ。この間、休めるのはトランジェットの着替える時だけだ。このゴールが実に感動的だ。自分にもできるんだという達成感、充実感に満たされ、感動の涙があふれてくる。この感動が忘れられず今もこの競技を続けている。

今後も、体の動く間トライアスリートを続けたいと思っている。健康である限り。

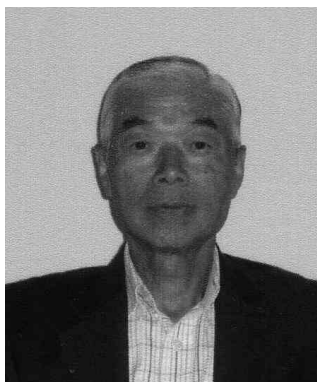
## 著者プロフィール

1971年4月 日本電電公社（現NTT）入社  
1993年2月 株NTTドコモ 転籍出向入社  
2002年4月 大明株 入社 現在に至る  
趣味： トライアスロン、読書、旅行

# ゴルフマナーに 学ぶこと

小林 一(昭 38 学機)

8番 155ヤードのショートホールにやって来ました。先行の組のうちの2人の手前のバンカーからと右の斜面の下からのアプローチを見ながら待ちました。先行の組がグリーン上でボールのマークが終わり、そのあと、手を挙げてコール・オンのサインを送ってくれました。



このホールは打ち下ろしだが途中には池もあり、4つのバンカーに囲まれ、右は急な斜面の砲台グリーンです。かつ、グリーン面には右奥から左手前の方にかけてかなり傾斜しています。

今日のピンの位置は左の奥目に切られている。どう攻めるか考え、絶対にオーバーはしないことだけを目標とし、7番アイアンでセンターを狙いスタンスは少し狭くとり、ゆっくりしたスイングでショットをしました。

幸い高い弾道で少し右目ではあったけれども、グリーンの手前にオンさせる事が出来ました。



ナイスショット！（筆者ではありません）

ほっとした気持ちでボールの落下点を見ていた時に、グリーンの手前で待っている先行のプレーヤーから、「ナイスショット」の声と拍手の音が聞こえて来て、こちらは帽子をとり、会釈してお礼の気持ちを表わしました。ゴルフゲームの中で、ほんとうに心安らぐ楽しい一場面でした。

ゴルフは審判員のいない「ルール(規則)」を一人ひとりのプレーヤーがきちんと守る事により成り立っているスポーツです。打ち方をミスすればスコアに跳ね返ってくるし、池に入れたり、木の根元に止まったり、さらに誤ってボールを動か

してしまってもペナルティーを払って救済されます。一方、すべてのゴルファーが楽しくプレーする為の「心配り」として、他のプレーヤーに対する安全の心配り・コースの保護・プレーファースト・きちんとした服装等は長い歴史の中で培われた「マナー」に基づく行動として「ルール」よりも優先して大切に守られてきたものです。前記したショートホールでの一場面の他に私の体験したもう一つの場面をお話しいたします。

昨年の秋に水戸市郊外にある私の友達のゴルフコースでプレーした時の事です。初対面の方2人と4人でスタートしました。4番ホールで私のテークショットは右にスライスして木立と斜面の方に消えて行きました。この時私の友達だけでなくほかの2人も一緒にボールを捜してくれました。なかなか見付からずあきらめかけていたとき、深いラフの中のボールを初対面の方の一人が見付けてくれ、皆が自分のことのように「よかった」「よかった」と笑顔で喜んでくれました。その後は不思議と4人の気持ちが一つになり楽しく話をしながら、一日なごやかにプレーを終わりました。同伴プレーヤーのボール捜しも一緒にするという「マナー」にしたがって行動してくれたおかげで4人もゴルフを楽しむ事が出来ました。「マナー」の大切さを実感いたしました。

話を日常生活に移した時に、私達は一人ではなく、必ず他人とのかかわりを持ってすごしています。例えば、公園を散歩しても・乗物に乗っても・車を運転しても・レストランに行っても小さなトラブル(いやな思い)から大きなトラブル(不愉快な思い)にまき込まれる機会がかなりあると思います。

こんな時に、自分中心になりすぎずに、相手を思い、相手にいやな思いをさせないと心くばりをして行動すれば、多分相手にも分かっただき、お互いにいやな思いをしないですむものと思います。これから年令を重ねるにつれ、どうしても自分中心の行動になりがちですが、相手に求めるより、まず自分から「ルールよりもマナーを大切にする行動」に心がける事が、これからの人生をより楽しくすごせる事につながるのではないかと思う次第です。

## 著者プロフィール

- ・ 出身高：水戸一高(茨城県笠間市で出生)
- ・ 昭和 38 年 4 月：旭硝子(株)に入社  
以来約 35 年 自動車用安全ガラスの生産関係の仕事に従事(工場勤務 5 回 本社勤務 3 回)
- ・ 趣味：ゴルフ(過去 2 回手術したけどまだやれています) 自宅庭での草花園芸、読書(特に好きなジャンルは無し)等

# サッカー裏話

菅野 義裕 (昭 45 学機)

大学に入り、初めてサッカーに触れ、その面白さ、奥の深さに嵌ってしまいました。水戸の教養課程を経て日立に移って5年間、友人とボールを蹴っていたのが今でも楽しく思い出されます。また大学院1年の時、メキシ



コでワールドカップが開催され、テクニクに優れたブラジルが“神様ペレ”の活躍で優勝したこともサッカーに取りつかれた大きな原因かもしれません。

東京ガスに入社し、当時の東京ガスサッカー部は東京一部（一部は15チームで構成、東京には約400のチーム）の強豪でした。自分の力がどれほどかを試したい一心で、初練習に参加すると、流石に選手は一人一人技術もしっかりしていて上手かったことを記憶しています。幸運にも翌日の試合、前半10分過ぎに交代出場し、1分後にコーナーキックからのボールをヘディングでゴールを決め、その後レギュラーポジションを確保しました。しかし、ボールを扱う技術は劣っていましたが、体力とスタミナはありましたので、中盤で相手のエースを抑える役をよくやらされました。その間、仕事とサッカーの両立は肉体的にきつかったけれども、2度の優勝を味わいました。またコーチ、監督も経験し、選手育成の難しさを知りました。チームも成長し“関東リーグ”へ昇格していきました。関東大学リーグから優秀な選手が入部してきて、日本リーグ、JFL（ジャパン・フットボールリーグ）と順調に階段を上がっていきました。

アマチュアチームからプロチームにステップアップすることは、一民間企業の力量を超えるもので、東京にある有力企業（東京電力、新日石をはじめ、200以上の企業）の協力を得て初めてプロ化が実現しました。チーム名も首都圏を代表するチームとしてFC東京となり、Jリーグ2部を経て、現在Jリーグ1部で活躍しています。

私はプロ化する前の1993年から1998年までの6年間、東京ガスサッカー部の副部長として全ての試合に同行していました。日本全国で試合をしましたので、高知県を除いて全ての都道府県に足を運んでいます。土日が潰れますが、スタッフの役得として日本各地で郷土料理と美味しい地酒に巡り合えたことが楽しみでした。選手は残念ながら

ら、これは出来ません。

この中でプロスポーツ選手の厳しさを傍からみてきました。アルコール、タバコは厳禁です。食事は栄養士のカロリーコントロールしたメニューをホテル側をお願いします。試合3時間前に、エネルギー源である、パスタ、うどん等のでんぷん質をとります。試合が終わっても飛行機の中、新幹線の中で選手が食べているものは弁当と飲み物だけで、体を休めています。土曜・日曜の試合が終わると、翌日は練習グラウンドに午前中集合し、トレーナーの下、1時間ぐらい軽いランニングと十分なストレッチを行い、翌日が休日となります。本当に激しいスポーツですので、試合前後に体重を測定し、体重の減り方で体調を管理しています。一試合終わると3キロ前後、体重が落ちます。体重が減っていないことは体調が悪く、運動量が少なかったことが推測されます。

プロスポーツは結果が全てです。結果が出ていないと、11月末の契約更改時に翌年の契約金“ゼロ”を提示されます。くびです。また公式戦中に不正行為で“一発退場”になりますと、Jリーグから数十万円の罰金と、呼び出されて審判部から注意を受けます。本当に厳しい世界です。

活躍している選手たちの裏舞台を何年間も見続けてきていたので、その後の移籍先、あるいは選手生命を終え、コーチの資格を取得しているいろいろなチームでスタッフ、指導者として活躍している人を見、会えることは大きな喜びです。このように他のチームに行っても活躍している人は、選手時代から自分を大切にし、将来の自分を見据えているいろいろな布石を打っています。人生を前向きに捉え、心の暖かい人たちが多く感じました。最後は人間性ですね。チームを預かるスタッフとしては、一対一で選手たちと心を通わず指導・話し合いができるかが、どのような世界でも一番重要なことなのだとこのことを痛感しました。

私自身、サッカーは今でも年数回、マスターズの大会も含め、昔の仲間とプレーしています。そのため、毎日の筋トレ、土日のランニングは欠かせません。それも元気に生きていくための必須アイテムです。

## 著者プロフィール

福島県伊達市（旧保原町）出身。

現在、埼玉県春日部在住。

1972年東京ガス入社。

燃焼研究・機器開発に22年間従事、その後、トーセツ（旧東京ガス給排気設備）、筑波学園ガスを経て、現在美浦ガスに勤務。

1984 - 86年 東京ガスサッカー部監督

1993 - 98年 東京ガスサッカー部副部長

1999年 FC東京アドバイザースタッフ

# 能楽「金春流」との 出会い

笹島 晃（昭 44 学子）

## 「能楽」を始めた動機

「能楽が趣味です」と、誌面に書くほどの技量を持ち合わせていませんが、「能楽」に触れて早 5 年が過ぎ、その動機とその醍醐味について述べます。赴任先から帰宅すると「定年前に趣味となるものを持つべきで、定年過ぎるとなかなか探せない」と妻によく言われました。その教訓をもとに長く付き合える趣味として妻が通っていた「牛久櫻詠会」に親しみを感ずるようになり「能楽」に触れました。初めてお会いした「山中一馬」師の美声に魅了されて、入会を決意し、月 2 回の稽古に妻と通い始めました。



## 「山中一馬」師との出会い

師は金春流のシテ方で、櫻間の芸統を継承する若手（現在 51 歳）の一人です。また、故 19 世櫻間金太郎師に師事し、金太郎師の本名「龍馬」に因み舞台名「一馬」を許された経緯の持ち主です。

一般に宗家だけが舞える「翁」を今年の 1 月に金春会の定期能にて披いた実力者で、「能楽」の指導・育成にも熱心で、出身の学習院大及び東京・地元の牛久市、土浦市において「櫻詠会」を主催しています。

師の指導により、我々素人にとって、他流派では許されない新企画（能仕立て仕舞等）に挑戦したり、また同門会では国立能楽堂、銀座能楽堂等の舞台に立つことができたり、励みになることが多く、師と出会えたことは、私にとって幸運だと感謝しております。

## 能の稽古について

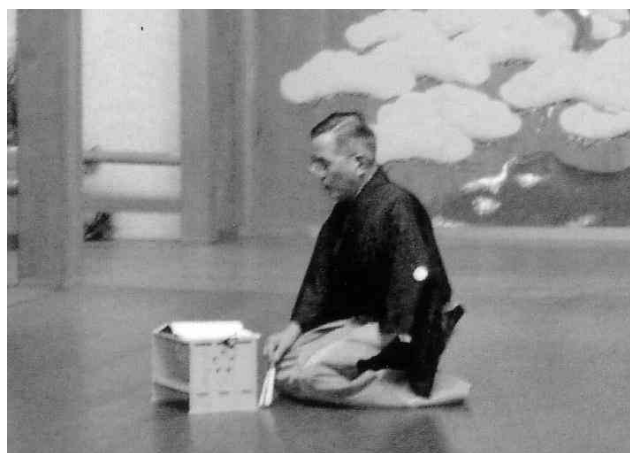
素人向けの稽古は通常、謡と仕舞をしますが、基本は謡から始め、仕舞を併せてします。私も謡を初めて 5 年、昨年 10 月から仕舞を始めました。

謡の稽古は 謡本（台本）の一節一節を師の口伝に沿って謡い、師から謡い方のポイントの解説があり、最後は通して合唱します。その合間に能に纏わる話をされるのが楽しみであり、理解を深めるのに参考になります。

地謡の稽古もあり、地謡とはバックコーラスで能舞台ではシテ方・ワキ方他と地謡とが交互に謡

うハーモニーが非常に重要でその演目の情景描写と心象描写を謡いで表現します。地謡は大体 8 名位の合唱になるため、地頭（じがしら）といって地謡をリードする人（コンサートマスター）がいて、すべて地頭の謡いに沿って、後の 7 人はついて謡います。従って、シテ方と地頭の力量によって能の成否が決まります。

仕舞は能の一曲の中で、舞で表現する部分があり、その部分を稽古します。特に男舞は颯爽として気持ちの良い舞です。一般に「謡いは宝生流、仕舞は金春流」といわれていますが、高浜虚子は「すべて金春流」といったとのこと。各流派の謡い方・舞い方は同じ曲でも異なり、さらに時代によっても違う口伝の世界のようです。私としてはやはり金春流の謡が好きで、独特の抑揚と「つや」があるように思えます。



独吟（葛城）の舞台風景（於：銀座能楽堂）

## 私の目指すもの

師は「教えることでかつて学んだ師の教えを忘れないでいられるし、自己の鍛錬にもつながる。これからも能を通して日本文化の素晴らしさを広めていきたい。」との思いを持っておられ、それに共感しつつ、いずれの日か師のシテ方の舞の下で「地頭」として謡えばとの目標に精進しております。

また、妻と共通の趣味をもって、未永く楽しむ事を目指しております。

なお、山中一馬師のホームページの URL は次の通りで、興味のある方は開いてみてください。

[http://www.geocities.jp/ishin\\_kaden/](http://www.geocities.jp/ishin_kaden/)

## 著者プロフィール

昭和 44 年 4 月 三菱電機(株)入社  
平成 12 年 3 月 同社退社  
平成 12 年 4 月 島田理化工業(株)転籍  
平成 21 年 6 月 同社退社  
趣味 : 能(謡、仕舞) ゴルフ

# 生涯現役人生

小滝 麟太郎 (昭 45 学電)

## 1. 人生は偶然の積み木?

私は四国高松生まれの讃岐男です。父親の転勤で小学時代に東京、中学時代に仙台へと転校、パンカラで有名な仙台一高時代は下宿生活となり、ろくに勉強もせず、茶畑短大(実は高校内にある予備校)に行ってから受験勉強は頑張ると自分勝手に決めていました。



そして偶然入手した茨大受験申込書を浪人生活を送る上での自信のためにと提出し受験、合格すると「浪人してもどうせ受験勉強はしないだろう」と急遽考えを革め、正に茨大愛唱歌にある「流れ流れて茨城の・・・」水戸の地にやって来ました。

教養部時代は先ずは幅広い知識を身につけるべきと水戸で入部したのが「生物研究会」、研究とは名ばかりで週末の山歩き、先輩の下宿での毎晩の梁山泊(飲み語る)そして夏はテントを背負って登山などに明け暮れました。そんな生活状況と教養科目に専念したためか?間違いなく単位をくれるものと自分勝手に期待していた専門科目を、見事に落としてまさかの留年をする羽目になり、既に引っ越していた日立から水戸に戻って、孤独な2年目の水戸の生活が始まりました。

ところがこの最大の苦境に陥ったことが私の人生における最高のエポックになりました。

水戸での2年目を無駄にするものかと教養科目の習得に更に力を入れ、世界哲学全集などの書物を読み、また一部リーグ所属の「ハンドボール部」に入部して体力の限界に挑むなどの試行錯誤。

しかし精神的な充足感をつかめず苦悶する日々が続いている中で、ある先輩との偶然な出会いを通し、人生における様々な課題や苦難を前向きに取り組み、最高に充実した生活を築くための人生哲学である「真の仏法=生命哲学」と出会うことが出来ました。

様々な偶然の積み重ねの結果として茨大に入学その上に留年したおかげで、その後のわが人生を大きく変革し決定する「人生哲学と師匠」を得るといふ、最悪状況の中で最高の人生構築への因を掴むことが出来た訳で、正に「人生は偶然の積み木」即「宿命的な必然」と思えてなりません。

## 2. 就職と人脈構築

工学部時代は多賀に下宿。その家主である老夫婦の規則正しい早起きと朝食に付合う生活をした

おかげで教室には一番乗り、その結果か5年分の単位と優の数をそろえて成績最優秀?で卒業、当時社長であった土光敏夫著「東芝の悲劇」に感銘を受けて東芝に入社しました。

東芝では玉川/府中/日野工場そして本社通信事業部において主に国交省・農水省・自治体など官公庁のダム/水管理に関するコンピュータ制御システム技術者として全国を飛び回り、建設電気技術協会(建電協)や農業土木事業協会などの社外委員会の中心メンバーとして、アジア各国・エジプト・ギリシャの現地調査、また JICA 専門家としてルーマニア灌漑システム開発への長期派遣、日本 GIF 財団アラル海問題チームメンバーとしてロシア語圏のカザフ・ウズベク・キルギス3国の技術調査と各国大臣級との会見など、官公庁や主要メーカの多くの技術者と共に仕事に取り組んだことが会社生活における大きな成果・財産となり、現在の幅広い人脈へと繋がっています。

## 3. 人生に定年無し・マイスター60

2004年にITバブルがはじけた影響で大赤字を出した通信事業部が無くなり定年扱で退職する状況に、シニアの再就職は大変難しい中、東京人材銀行経由でダム総合計測の(株)ジオテックより声がかかり、資格と経験を活かし日本最大の徳山ダムで今までの集大成ともいべき業務に携わることが出来ました。その後、公共投資削減により新規ダムが激減して2007年にはジオテックが業務を終了、還暦過ぎでの再々就職はまず不可能と思っていたところ、不思議とタイミング良く(株)マイスター60という会社より声がかかりました。

この会社は、「年齢は背番号、人生に定年無し」のスローガンのもと、創業以来一貫して資格を持った経験豊かなシニアの働く場所を提供することを社是とし「雇用機会を創出し、人々の生きがいを広め、生涯現役文化をひらく」を企業理念とするユニークな会社です。

最近ではマスコミからも注目され、フランスや韓国の国営放送からの取材も受け、昨年5月にはTBSテレビ「みのもんだサタデーずばっと」において会社の活動が映像で紹介され、各方面から大きな反響がよせられました。

年金制度改正に伴う「改正高齢者雇用安定法」の施行、シニア世代のセカンドキャリア推進や生涯現役社会への模索、サブプライム問題に端を発した経済不況による人材派遣の問題など雇用に関する多くの問題が発生しています。

幸い再就職をお世話した人材の方々ならびに紹介先からは過分の感謝と評価の言葉を多くいただき仕事冥利に尽き、「生涯現役」70歳過ぎまで元気に皆さんのお役に立てればとボランティア精神で今後も元気に活動したいと思っています。

マイスター60 HP: <http://www.mystar60.co.jp/>

# 四半世紀回顧録

仲澤 育 (昭 59 学・子)

勤続 25 年の表彰を受けた丁度その頃、編集部からご依頼があり、大学時代から今までの自分を振り返ることにしました。

卒研は、電子工学科半導体研究室にて故古越光雄教授、菊間講師、関根技官のもと、青色発光ダイオードの素材として有用視されていた



族化合物の ZnSe(ジンクセレン)の物性を解明すべく、『高温での ZnSe の結晶構造』について、X 線回折理論解析と実証実験を行いました。精密工学科棟では、ZnSe 単結晶を 5mm×0.2mm 程に溶解研磨し真空密封した石英アンブル高温化用の黒鉛ヒータを削り出し、機械工学科実習棟では、高温で黒鉛ヒータや石英アンブルの酸化(燃焼)を防ぐための真空高温実験装置を旋盤やドリルで真鍮板から製作しました。雪降る昭和 58 年 12 月、金属工学科棟の油と土の臭いが漂う X 線照射実験室で、一人、鉛のエプロンと手袋を着用し、低温 高温における ZnSe の X 線回折点の変化を、世で初めてリアルタイム連続写真として捉えることに成功し、約 1100 前後で立方晶 六方晶の“転移点”が存在することを証明しました。これにより、真空高温下で化合物を融解後徐々に冷やして結晶成長させる『高圧溶融法』では、ZnSe は立方晶 六方晶へ変化する転移点が存在するため、結晶構造が反転する“相晶”の無い ZnSe 単結晶の製造は困難であると結論づけました。入社数年後、東北大学の西澤教授が、世界初の青色発光ダイオード開発に成功したことを知ったときに身体中が痺れて涙が溢れ出したことを、昨今、発光ダイオード信号機の“青灯”を見るたびに思い出します。

入社した電電公社は、翌昭和 60 年に民営化されて NTT となりました。世界初の FAX 画像の蓄積変換 NW サービスである『ファクシミリ通信網サービス(F ネット)の研究実用化』に入社以来 13 年間一貫して携わり、私の人生に決定的な影響を与えた“3 人の恩師”と多くの“同士”に出会いました。今でも酒を交わしながら当時の事や近況を語り合います。平成 9 年から F ネットの制度料金に係る郵政省認可申請対応を行い、平成 11 年 NTT 分社化後は NTT コミュニケーションズで総括・人事を経験し、平成 12 年同社で OCN・300 万加入突破へ向けて邁進しているさなか、金曜に電話対応していた相手が翌土日で殺人事件犯として逮捕される、等の体験もしました。平成 14 年 NTT サイバーソリューション研究所に異動となりデジタルコンテンツの権利管理仲介を行う『著作権管理 PF』の研究・開発を推進し、翌平成 15

年 NTT サイバースペース研究所(SP 研)では環境保護やパンデミック対策でも有用な『PC 会議システム』を NTT 東日本と共同開発しました。この頃は朝帰りも多く、運転手さんが、「仲澤さん、待っていますからシャワーを浴びて 6 時半に出てきてください。」と、東京～横浜を往復してくれた時には心底助かりました。平成 16 年、これと『goo』を提供する NTT レゾナントへ異動し SI を推進しました。これらを通して“3 人の恩師”や“生涯の友”に出会い、先日も将来・人生談議をした所です。平成 18 年 SP 研に戻り、安心・安全をテーマに『遠隔映像モニタリングシステム』を開発、平成 20 年“上海万博 2010”への導入を狙って、『中国向け監視システム』を北京や上海の企業・大学と共同開発しました。平成 21 年からはクラウドコンピューティングにおける画像系インキュベーション開発を行うと共に、今迄の経験と人脈を活かして社内外の若手社員育成に努めています。

趣味の音楽は、水戸市本学の“もずコール”でバンド活動を始め、サークルの後輩だった妻や、多くのかけがえのない生涯の仲間ができました。Keyboards&Vocal では『Sanskrit』、『JunkJewel』、Drums では『CRESCENT』、『MintGrass』に所属し、茨苑祭や他学園祭、千波湖夏祭り、ヤマハ主催の EastWest 出場など青春を謳歌。会社の軽音楽部『a-band』では寮祭や X'mas Party 等で活動。仲間と会った時にはバンド談議に花を咲かせます。ゴルフでは今年 3 月に 15 歳の長男との初ラウンドが実現。初スコア 136 は私のそれよりも良く、妻も含めた家族でのラウンドが夢です。

3 人の子供に恵まれ、全日本バトントワリング選手権で、長女は団体準優勝 2 回/入賞多数、次女はトゥーバトン部門 3 位/ペア部門 4 位/ソロトワール部門 5 位(杉浦紀子バトンスタジオ所属)を、長男は全国中学校総合体育大会サッカーの部で神奈川県 3 位/横浜市 3 位(市立富岡中学校サッカー部、上中里サッカークラブ出身)と、たくさんの“宝物”と“生き抜くパワー”を貰いました。

♪ ♪ ..... ♪

5 月中旬、朝 4 時半には明るくなる。たまには洗濯物を干す窓越しの部屋の中ではパソコンで仕事をする妻。富士通の友人や教え子から贈られた“千羽鶴 2 つ”と TV の“5:55”をみて家を出る。あと四半世紀は頑張ろう。(記 48 歳)

## 著者プロフィール

1984.4 : 日本電信電話公社 入社  
横須賀電気通信研究所画像通信研究部配属  
2009.4 : NTT コミュニケーションズ株式会社  
先端 IP アーキテクチャセンタ担当部長現職  
学会 : 電子情報通信学会会員、URCF 会員  
趣味 : ゴルフ(月 1~2 回)、音楽(演奏・鑑賞)  
ボランティア : 少年サッカー指導員・審判員  
メール : m.mhmhry@bird.ocn.ne.jp  
ブログ : <http://blog.livedoor.jp/hmhry/>

## 予防に勝る治療なし

整体健康開発院 院長 医学博士

海老原 雄二氏 (昭 38 学 金)

著書 (医学書) : 「治療力を活かす健康」

...健康で長生きするには...

発行 日本図書刊行会

発売 近代文芸社

[ 編集部から ]

昭和 38 年茨城大学工学部金属工学科卒業後、三菱電機にて半導体の製造・開発に関わり、50 歳頃から医学の道を志し、神戸大学医学部で学び、その後東洋医学者となり、医学博士の学位を取得、茨城県守谷市で「整体健康開発院」を開設、現在に至っている異色の医学者です。

同期の小林 渡 (昭 38 学電) 編集員がインタビューしました。

**\* 半導体研究者から東洋医学者の道へ転身されたのは、異色と思いますがその点の経歴をお聞かせ下さい。**

1963 年 3 月茨城大学工学部金属工学科卒業後、同年 4 月三菱電機 (株) へ入社、研修後半導体の製造・開発関係に従事。それ以来、トランジスタ、集積回路の製造・開発に約 10 年その後 CAD 関係の仕事に約 10 年行いました。会社勤務で関西地区には約 30 年在住しました。50 歳頃から医学の方を目指し会社関連の神戸地区の会館をかりて何日か缶詰になって神戸大医学部の先生から基礎医学、生理学、解剖学、病理学など西洋医学の講義を受けました。別途、それらの関連の分野について何十冊か本を読んだり文献で調べたり独自で学びました。1996 年 7 月退社して、整体健康関係の手法を講習会、セミナー、学会等で習得しました。更に、西洋医学、東洋医学の利点を求め、その分野の研究を進め、医博の学位を得ました。整体健康開発院を開設し、10 年以上経て現在に至っております。

**\* 工学から医学の道へ至る切っ掛けは？**

以前より医学関係に関心があり、将来、定年後はこの分野の仕事で社会との繋がりを持ちたいと考えて来ました。そして西洋医学と東洋医学のメリットのところを取り入れるように考えました。

西洋医学は科学的根拠に基づいて検査、診断が行われ、MRI、CT 等でも異常部分が速く検出され、正確な確認が可能です。他方、東洋医学では原因が明らかでなくても、症状に対応し易く全体的なチェックが出来ます。予防的な面や特に免疫のアップに有効な点があります。

西洋医学は在職中から勉強を始め、衛生管理者等の資格を取り、基礎的な医学をマスターし医学の方

向への切っ掛けをつくりました。

少し早期に退職し、更に、西洋医学、整体関係、カイロプラクティックなどを学び、整体に関する研究を進めました。

以前から、生老病死として誰しも人間には避けることの出来ない宿命的な問題があります。しかし出来るだけ健康長寿を願っている人は多いと思います。高齢化社会において退職しても、世の中との接点が出来て少しでも役立てばと思い、整体健康開発院を開設しました。

当院では、腰、肩、足、頸などの痛み、コリ、シビレで悩みの方、持病と諦め苦しんでいる方、手術を勧められ不安な方、気分がすぐれない半健康な方 (更年期、自律神経系の障害など) 等を対象に治療器、手技の施術を行っております。



リンパ活性の施術状況

**\* 健康・病気についての考え方は？**

健康であることは、これからの高齢化社会において益々重要な要素となります。種々の病気、寝たきり、認知症などの防止、または、遅らせることが出来れば本人自身は勿論、家族、社会にとって非常に役立つものと思われれます。人は何の目的で何のために生きるか。生きる意味は何か、健康とは何かなど色々な考え方があります。人間本来に備えられた力を活かす健康について考えたいと思います。

通常は健康でも、半健康 (未病)、病気へと移行して行きます。あるクリニックの先生がよく引用されることですが、登山家に「あなたはどのように山に登るのですか」と尋ねると「そこに山があるから」と言います。それと同じように「人は何故病気になるのか」に対し「病気があるからだ」と言われます。病気は気の持ち方で、ある場合はよくもなり悪くもなると言われます。その 1 例を次に紹介します。体の調子の悪い方が種々の検査結果の診断として「あなたは「がん」です」と告知された場合、次のように落ち込むタイプと頑張るタイプの 2 つのタイプがあるとされています。

- (a) 「自分はもう駄目だ」と思って頭が真っ白に落ち込むタイプ
- (b) 「「がん」位なんだ、自分は良くなってみせる」と頑張るタイプ

この両者に同じ治療をすると（b）の方が治療成績が良い。更に治療する立場のベテラン医師は（a）のタイプでも落ち込ませずに上手に誘導して元気付けて治療を受ける意欲を引き出して行きます。この意欲によって免疫力を引き出すことが可能となります。病気とは何か、病気は「生物の全身または一部に生理状態の異常を来し、正常の機能を営めず、種々の苦痛を与える現象」です（広辞苑）。病気を起こす原因として、（イ）主として活性酸素による障害でDNAの異常、（ロ）感染症、すなわち病原性微生物などの寄生増殖、（ハ）免疫疾患、（ニ）生活習慣（食事、運動、ストレス）等で色々の要因が相互に作用して病気になると言われています。更に、健康については、身体的、精神的そして社会的に良好で有能な状態を言い、単に病気や虚弱でないと言うだけでないと世界保健機構では定義されています。健康と病気の間を半健康（東洋医学では未病）と呼び、この状態の時、早い時期に有効な手立てを行えば、健康状態へ取り戻し易い。寧ろ、積極的に病気へ進むことを防ぎ健康を取り戻すことが重要です。

#### \* 現状の健康の問題点などは？

文明の進歩、工業の発達に伴い、運動不足、栄養の偏り、ストレス精神的な疲労、生活習慣など種々の病気に悩まされます。病気になると本人は勿論、家族、社会にとっても大きな損失です。日本では最近で年間100万人を超える人が死亡し、その中30万人は、がんで死亡すると言われています。次に、脳卒中、心臓疾患、肺炎、その他となっております。

高齢になるにつれ病が増加し国の財政も困難になります。科学的な測定や検査技術など発達して病状が進めば、その状態を詳しく知ることも出来ますが初期の段階で病気の兆候を予知したり、予防的処置をすることは難しい面があります。



背骨・骨盤など矯正の一実施例

#### \* 病気の予防・健康維持などの改善点

以上のようにこれまでの様々な病気で、また高齢になる程、老化も起こり悩みが多くなります。日本では平均寿命が延びたとは言え、将来とも何らかの病気、老化と闘わねばならない。理想的には病気に

なる前に体の状態を知り、問題を回避する方法、生活習慣、環境の改善が必要です。食生活、運動、睡眠、ストレス等の色々の要因の影響を受けます。これらのバランスをとる健康管理が必要です。特に、予防を重視する医療として免疫力のアップが重要とされます。病気の原因は免疫系の働きが大きく関係しています。健康状態は免疫、内分泌系、自律神経系の3つの中枢機能によって制御されていますが、病気の予防改善に必要な治療力は免疫系の増強によって活性化されます。健康改善の為に現状で私たちが目指して実施する事は次の療法です。

（イ）現在悩んでいる病気を癒すこと、痛みを和らげ抑えること

（ロ）疲れ、気分の優れない点、ストレスなどを解消する。

（ハ）体質改善、恒常性機能、免疫力の改善、病気の予防

治療力のアップを考え、本施術では神経伝達、骨格筋、関節の変化に対応し血流、リンパ液、ホルモン等の体液の分泌及び流れの円滑化をはかる手法を用います。それにより細胞の働きを活発化する。従って新陳代謝も良くなり体内の老廃物の回収も良く病気の回復を早め症状の改善に役立つ。体内の各細胞の機能の改善、体質の向上を助長し自己免疫力をあげてゆく。以上の施術は病気の予防、改善に結びつくものと思われま。

#### \* 将来の健康へ望むこと？

食事、運動、休息のバランスを良くし、免疫力の向上、自然治療力を如何に高めて行くかが大切です。白血球、リンパ球の活性化は病気の予防に効果があります。検査してもわからない程の微細な”がん”の芽の段階であれば、免疫力の効果が期待されています。この分野の更なる改善が必要だと思います。従来の医学では既に出来ている病気を診つけ治すことにほとんど力が注がれ、又、そうせざるを得ないのが現状です。これからは予防医学を重視し、病気、老化の改善できる環境、医学や科学技術の発展が必要と思われま。さらに、健康長寿を目指す抗加齢医学（アンチエイジング医学）も益々重要となります。病気、老化が起こってしまえば、現在の最先端の医療技術でも困難な面も多い。脚・腰が弱らず丈夫な時から健康管理が必要ですが、病気や老化の前兆、その原因を診つけ、その対策のできる予防医学を重視する医療を望みます。

#### \* インタビュー後記

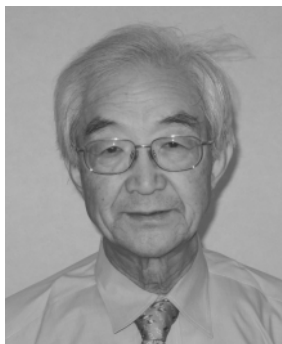
工学者から医学者への転身、相当の決心と努力があったことと思います。学生時代寮で同室ということもあり打ち解けてインタビューすることが出来ました。真摯に患者さんに接し、物静かにお話する、今お医者さんに求められている一番大切な事と感じました。しかも「予防医学」を最大の課題としている。超高齢化時代を迎えた今日、氏の活躍する場面が益々大きくなる事でしょう。（小林）

# 静岡支部の紹介

支部長 高田 勲(昭 37 学機)

この記事が  
会員諸兄の目

にふれる頃には、6月に催される予定の静岡支部総会で、小生の支部長任期が満了し、新支部長は後任の寒風沢 毅氏(学機 41)になっていると考え、新支部長に寄稿をお願いしようかとも思いましたが、寄稿依頼が小生宛になっているので、寄稿することにしました。



昨年は静岡支部設立以来 30 年の節目を迎え、来し方を振り返ると、確かではないが、設立総会開催の案内状を 96 通郵送したと記憶している。6月の第 31 回総会の案内状発送数が 382 通を越え、平成 10 年卒以降の若手を含めると 460 名以上となり、この 30 年間で 5 倍の会員を有するまでになりました。支部発足と同時に幹事長に就任し、以来 14 年間幹事長を務め、今期まで 6 年の間支部長として支部の運営に少しでもお役に立ったとすれば嬉しい限りです。

昭和 53 年 12 月、水戸勝田支部に次いで第 5 番目の支部として設立し、初代[故]西 雅之支部長(専電 19)、第 2 代の芝 和男支部長(専機 20)、第 3 代[故]大塚 裕庸支部長(専機 20)と御一緒に、母校創立 50 周年記念式典で多賀工業会功労者として表彰され、また初代理事長[故]春日 光雄先生(専原 18)の名代として表彰状を受け取る事が出来ました事、今は只懐かしく思い出します。

静岡支部は、山梨県の一部を含んではおりますが、東西及び南に広いため発足以来、東部、中部、

西部地区(富士川・大井川を境界)の持ち回りで総会を開き、出来るだけ開催地区の諸兄の出席に便利を図ってきましたが、それでも遠距離出席を余儀なくされるため、宿泊付の総会を他支部と比べてかなり多く開催してきました。本部及び各支部からご出席いただく来賓には余計な出費を強いて誠に心苦しく思っています。41 年卒の支部長と、信太 茂新幹事長(学電 45)の若手コンビが今後支部の運営を担ってくれるわけですが、この傾向はおそらく変わらないのではないかと思います。

今総会も駿河健康ランドでの温泉付一泊総会で、翌日のゴルフ同好会は二組、当日のウォーキングは、薩埵峠(東海道五十三次で有名地 切手にも)越えに 8 名参加してくれます。東京、千葉、埼玉支部の同好会の羨ましい活動に少しでもあやかりたいと今後とも、役員一同頑張るつもりです。本部ならびに各支部のご指導、ご助言を頂けますよう御願いしてペンを置きます。



< 切手の中の東海道五十三次 原、蒲原、丸子 >



## 著者プロフィール

1938 年生れ。福島県出身。1962 年トキコ(株)入社 火力発電自動制御関連に従事。1967 年東海船舶工業(現 東海テクノ(株))入社。2002 年退職。趣味は陶芸、万葉古今等古典及び漢詩の鑑賞、ゴルフ。静岡市葵区在住  
isao\_takada@yahoo.co.jp

ご披露宴・結婚式場  
大親の絵のあるレストラン  
ランドーレ  
不忍池と上野の社を眼下に眺めて  
ピヤガーデン  
ご宴会・出張料理  
伝統に培われた純フランス料理  
グリル フクシマ

創業明治 5 年  
**上野精養軒**  
〒110-8715 東京都台東区上野公園 4-58  
TEL 03-3821-2181 FAX 03-3822-1330  
http://www.seiyoken.co.jp

# 会報題字変更

経緯と揮毫者のご紹介

お気づきでしょうか。今号から会報の題字が変わりました。従来 of B 5 版から A 4 版へサイズを拡大して、会報第 10 号記念号を発行したのは一昨年のことですが、これまでの題字の筆者である杉山 六郎（昭 24 専船）先輩から「私が書いた会報題字も 10 年になったので、そろそろ変更して代替わりさせてはどうですか」と近江支部長に電話を頂きました。

その年 11 月に開催された幹事会では「さし当たってそのような人は見つからないから、今暫くの間使わせて頂く様にお願ひしよう」と言うことになりました。昨年、支部総会の担当役割を決める時に 8 月から幹事になったばかりの小澤 茂（昭 43 学子）氏が「名札や式次第を書きましようか」と言ってくれました。話を聞くと「総会の看板だって」とのこと、総会看板（2 頁の写真参照）と式次第を書いて貰うことになりました。

総会当日これらの作品の出来映えを見た人達から大好評を博し、会報題字依頼に結びつきました。従来の題字同様に会員の皆様に慣れ親しんで頂

けるものと確信し、これまでの題字の筆者、杉山先輩にお礼を申し上げる次第です。

揮毫者 小澤 茂氏の自己紹介と雲峰雅印



私の恩師は、有名な比田井天来先生の流で、純正書道の立派な指導者でした。

学生時代から茨大書道部顧問だった関南沖先生と、武藤海雲先生に御指導を仰ぎ、両先生が亡くなるまで永く可愛がって頂きました。

関南沖先生は、茨城大学教育学部教授で、付属中の校長も歴任し、茨城県談書会代表でした。

武藤海雲先生は、水戸二高教諭・日展篆刻の会友で、全書芸評議員として 99 歳まで元気に御指導されました。

私の号（雲峰）は、武藤先生の一文字「雲」（ウン、運）を頂き命名されました。

先生から晩年に、頂いた雅印や古墨は、暖かい心の家宝です。還暦を過ぎ、恩師や先輩の有難さを、一層痛感しています。

## 年会費納入に関する調査報告

H20 年度年会費納入が例年に比し低下顕著なる為 至近 5 年間の振込み実績を省みた。

会計 上月 秀俊（昭 36 学機）

### (1) 年会費：年度別納入状況

納入年度(H)	16	17	18	19	20
A : 員数	292	278	275	279	243
B : 員数	274	257	252	246	216
C : 口数	305	294	308	302	278
総会日: 10月	23日	15日	14日	13日	11日
総会以降納入数	18	20	23	20	10

<注>

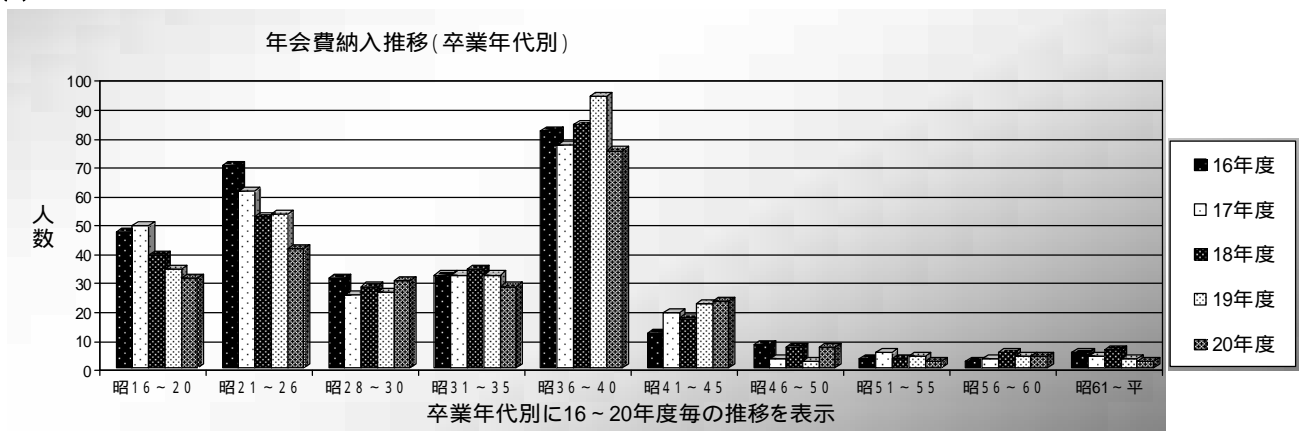
A:前年に重複年度分を納入された員数を含む。

B:当年度振込みされた員数

C:当年度振込みされた口数（1口 = ¥2,000）

\* 総会日迄に 93 ~ 95 % が納入されるが総会日は年々早まる傾向なるも総会日以降の納入者 20 年度は半減。

### (2) 年会費：卒業年代別納入推移



#### 数値から見える事と対応について

- 、支部創設以来の支えであった工専卒の大先輩は高齢化が進み半減方向は致し方ない。
- 、半数近くを占める 30 年代の落ち込みは一時的金融危機の影響が見極め難しい所、歯止め検討を要す。
- 、40 年代前半は幹事増員し増加方向に転じており同好会活動へ仲間を勧誘し中核に転ずる活動に期待する。
- 、40 年代後半は定年を迎える年代で、この年代の幹事増員と同好会への勧誘が今後の拡大への焦点になる？

# 平成20年度会費納入者

(敬称略、順不同)

(平成21年5月31日までに納入された方)

\* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡下さい。未納の方はご入金をお願いいたします。

Tel & FAX 045 - 891 - 2232 (本名簿作成者:兼子)

氏名の前の は平成19年度以前分も同時納入の方で中の数字は繰上年数を示します。

氏名の後の は平成21年度以降分を同時納入もしくは既納入の方で中の数字は前納となる年数を示します。

昭16専機 大矢 純一	昭23専機 梅田 政夫	昭28学機 小白井 和典	昭32学原 矢野 睦男
昭16専機 坂本 衛	昭23専機 向芝 新市	昭28学原 ①戸島 日出雄	昭32学原 榊原 康夫
昭16専原 小川 義夫	昭23専原 飯島 公正	昭28学原 柳沢 裕	昭32学電 田口 嘉男
昭16専原 故・林 義雄	昭23専金 村山 昭平	昭28学電 稲見 孝	昭32学電 田崎 耕八
昭17専機 大野 三知雄	昭23専電 塩野 譲	昭28学電 近江 義勝	昭32学電 山下 正明
昭17専機 岡崎 幸晴	昭23専通 荒川 宣夫	昭28学電 白瀬 達郎	昭32学電 渡辺 英雄
昭17専機 田邊 邦行	昭23専通 大木 康夫	昭28学電 玉川 信二	昭32学電 小室 秋生
昭17専原 鍋木 正	昭23専通 馬場 昭	昭28学電 橋本 久美	昭33学機 奥 康治
昭17専金 田邊 良美	昭23専通 広瀬 琢朗	昭28学電 藤田 史郎	昭33学原 山崎 勝雄
昭17専金 依田 連平	昭23専通 松沢 清次	昭28学電 山崎 恵三	昭33学金 三浦 陽
昭17専電 小林 幹	昭23専船 森 栄一郎	昭28学電 大森 通	昭33短電 伊藤 誠二
昭18専機 菅原 庄一	昭23教電 斉田 耕平	昭28学電 中原 太平	昭34学原 粕谷 宏夫
昭18専機 宮崎 至誠	昭23教電 千野 吉治	昭28学金 赤城 清	昭34学電 ①結城 佑
昭18専機 山本 栄治	昭24専機 小林 長和	昭29学機 雨澤 道雄	昭34学電 高野 史雄
昭18専金 市島 健男	昭24専機 戸田 慶昭	昭29学機 永島 隆	昭34学電 高橋 孝雄
昭18専金 山田 実	昭24専原 真中 和夫	昭29学原 石橋 弘	昭35学機 高野 久弘
昭19専機 大和田 光徳	昭24専精 鳥山 尚利	昭29学原 大久保 半吾	昭36学機 上月 秀俊
昭19専原 朽本 二郎	昭24専精 平木 康一	昭29学原 奥野 真治	昭36学機 境 茂郎
昭19専原 藤田 勲	昭24専電 白石 壽男	昭29学電 森 章太郎	昭36学機 笹生 右
昭19専精 小泉 篤	昭24専電 前川 信雄	昭29学金 照沼 清	昭36学機 林 輝
昭19専精 小泉 正男	昭24専通 城田 一成	昭30学機 佐藤 久弥	昭36学機 真下 知行
昭19専精 橋本 良夫	昭24専通 戸木 禮一	昭30学原 石川 英二	昭36学機 松本 延四郎
昭19専精 柳田 裕美	昭24専船 小峰 弘	昭30学原 鈴木 日出男	昭36学機 横山 馨
昭19専通 飯村 亮三	昭24専船 杉山 六郎	昭30学電 ①木村 好延	昭36学電 小宅 仁
昭19専通 酒井 忠光	昭24教電 浦井 猛	昭30学金 黒沢 正蔵	昭36学電 川松 正長
昭20専原 海老原 謙次郎	昭25専原 忍田 邦夫	昭30学金 三本木 武	昭36学電 橋本 正直
昭20専原 友保 伊弘	昭25専精 ④加藤 達男	昭31学機 早乙女 保二	昭37学機 坏 弘
昭20専精 山田 初太郎	昭25専電 高橋 清	昭31学機 横山 亨夫	昭37学機 岩田 正路
昭20専精 田島 廣一	昭25専電 村山 錦右	昭31学機 新田 和夫	昭37学機 野本 光彦
昭20専電 竹内 靖夫	昭25教機 酒井 三郎	昭31学原 瀬在 城雄	昭37学機 ①堀 恒夫
昭20専電 都築 久一	昭26専原 永山 正美	昭31学原 山崎 慎一郎	昭37学電 上田 正雄
昭22専原 ②石川 義男	昭26専原 渡邊 貢	昭31学電 大内 孝	昭37学電 田北 嵩晴
昭22専通 幸道 貞一	昭26専精 関内 正	昭31学電 藤川 俊明	昭37学電 西川 正登
昭22専通 谷口 貞作	昭26専通 菊地 玲二	昭31学金 細井 陽子	昭37学金 篠原 康祐
昭22専通 中村 弘	昭28学機 坂場 昭二	昭32学機 伊藤 義次	昭37学金 舟田 隆
昭22専通 前田 豊昭	昭28学機 坂本 泰彦	昭32学機 國井 榮次	昭37学化 阿部 徳治
昭22専通 今井 俊夫	昭28学機 関 英雄	昭32学機 柴田 勇治	昭37短機 白川 勇一
昭22専通 保坂 博	昭28学機 高田 丈夫	昭32学機 平沢 正一	昭38学機 河上 弘一

昭38学機 小林 一	昭38学電 橋 弘	昭40学金 松本 二郎	昭44学子 笹島 晃
昭38学機 駒場 方耀	昭38学電 寺内 賢一	昭40学化 高久 洋	昭44学子 常盤 浩央
昭38学機 桜井 衛	昭38学電 広瀬 行一	昭40学化 田中 栄太郎	昭44学子 堀口 正治
昭38学機 佐藤 幸一	昭38学金 海老原 雄二	昭40学精 大泉 雅靖	昭44学精 岩波 茂
昭38学機 丹下 宏	昭38学化 白石 道彦	昭40学精 寺 紘一	昭44学精 菊地 政行
昭38学機 豊田 元雄	昭38学化 高木 二郎	昭40学精 堀野 州男	昭45学機 ② 畠山 清
昭38学機 寺門 章	昭38学化 松浦 正明	昭41学化 青野 潔	昭45学電 小滝 麟太郎
昭38学機 半田 守正	昭38学化 矢部 功一	昭41学精 高橋 徹男	昭46学電 飯塚 英一
昭38学機 益子 洋一	昭38学精 磯部 亮	昭42学機 菅谷 禎男	昭46学子 栗原 功幸
昭38学電 今橋 富美男	昭38学精 市村 敬司	昭42学機 藤嶋 久波	昭46院機 岡本 和彦
昭38学電 大竹 充	昭38学精 黒羽 昇	昭42学電 森田 徹郎	昭47学機 高田 洋
昭38学電 大久 忠雄	昭38学精 矢嶋 國男	昭42学金 小園井 健	昭47学機 日置 秀明
昭38学電 兼子 八郎	昭39学機 北島 正保	昭42学精 下ノ村 勇	昭47学子 五十嵐 喜良
昭38学電 後藤 紀夫	昭39学機 三好 成實	昭42学精 山本 蕃	昭49学金 松田 研治
昭38学電 小林 渡	昭39学機 小林 章夫	昭43学機 遠藤 義和	昭54学精 鳥居塚 卓
昭38学電 佐々木登喜夫	昭39学機 須藤 和英	昭43学電 後藤 豊弘	昭55学精 二方 甲子夫
昭38学電 ① 庄田 幸夫	昭39学機 佐川 六郎	昭43学子 小澤 茂	昭57学機 小林 裕一
昭38学電 田川 政行	昭39学電 原 俊彦	昭43学子 佐藤 将彦	昭57学機 水口 一郎
昭38学電 橋本 政巳	昭39学電 大原 広哉	昭43学子 鈴木 弘道	昭59学子 仲澤 斉
昭38学電 熊谷 文男	昭39学金 入江 暢泰	昭43学子 ② 角田 勇	昭60学精 豊福 秀敏
昭38学電 高萩 隆司	昭40学機 熊倉 通	昭43学子 ④ 野崎 淳一	平04学情 秋山 英樹
昭38学電 小島 淳	昭40学機 佐藤 道夫	昭43学化 池上 毅	平08院生 東 學
昭38学電 坂野 栄	昭40学電 山崎 輝行	昭44学子 石川 久	合計 243名

## 平成19年度分会費納入者

昭28学原 山口 茂男  
昭38学機 中村 好秀

平成20年度分と同時納入の方は、平成20年度会費納入者欄の氏名左側に数字入りの印をつけて表示しています。

## 平成20年度寄付者名簿

昭26専通 菊地 玲二 2,000  
昭28学機 斎田 和夫 10,000

ご寄付有難うございました。  
(平成20年6月1日～平成21年5月31日まで)

昭38学機 豊田 元雄 10,000

年会費納入のお願い : 添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっています。

この年会費納入者名簿にお名前がなければ、昨年度(平成20年度)の年会費は未納となっています。

会員の皆様の過去5年間分の会費納入状況データを、皆様宛会報送付封筒の宛名書き部分に、表示しました。

卒業年学科の後の(H16～H20)に続く、「1」と「0」だけからなる5桁の数字です。「1」は年会費納入を示し、「0」は年会費未納を示します。H16年からH20年までの納付状況が、5桁の数字の左側から右側に向けて順に表示されています。下記例示をご覧ください。

- (A)、11111 5年間分完納。
- (B)、11110 4年間納付したが昨年度分は未納。
- (C)、11100 3年間納付したが一昨年から2年分未納。
- (D)、00000 この5年間未納。
- (E)、00111 H18から3年間納付。

<宛名サンプル例示>

101-1234 会報12号在中  
東京都千代田区多賀町1-2-3  
多賀本町住宅 3番街 5-2345  
多賀専 学太郎様

# お知らせ 囲碁同好会

会長 田中 栄太郎 (昭40学化)

現在、会員の登録者は、専通 22 の大先輩から  
 学子 44 の若手までの方々 43 名で、棋力は七段  
 から 4 級までいろいろです。大会は、年に 4 回で、  
 2 月、5 月、11 月の第 2 土曜日と 8 月の第 1 土  
 曜日に東京市ヶ谷の日本棋院(3F 椅子席室)で行  
 います。試合は、午前 10 時から夕方まで、参加  
 者各人が 5 回対局する方式で熱戦を繰り広げ

ます。

初回の棋力は申告制で、ハンディ制を採用して  
 いて、段級位にかかわらず、勝つチャンスがある  
 ような運営システムでやっています。成績次第で、  
 段級位が昇降します。囲碁に関心のある方は、ご  
 参加ください。会費は 3,000 円(入場料、運営費  
 を含む)で 1 位から 6 位までの方と実力を発揮で  
 きなかつた方 1 名に奨励賞が授与されます(スイ  
 ス方式を採用)。

対局終了後、会場近くで、希望者による簡単な  
 懇親会を行っています。



第 38 回  
 対局風景



## 大会入賞者 (支部会報第 11 号記載以降)

大会	開催日	優勝	準優勝	三位	四位	五位	六位	奨励賞	参加者
35	2008 08-02	山田三段 (電 42)	小白井二段 (機 28)	白石初段 (化 38)	高田三段 (機 28)	山下七段 (電 32)	石川初段 (原 30)	海老原 2 級 (金 38)	18 名
36	2008 11-09	関 三段 (機 28)	寺内三段 (電 38)	小白井二段 (機 28)	田中四段 (化 40)	白石初段 (化 38)	田口五段 (電 32)	海老原 2 級 (金 38)	17 名
37	2009 02-14	兼子二段 (電 38)	寺内三段 (電 38)	照沼四段 (金 29)	田口五段 (電 32)	小白井二段 (機 28)	幸道初段 (通 22)	近江 4 級 (電 28)	19 名
38	2009 05-09	山下七段 (電 32)	高橋五段 (精 41)	山田四段 (電 42)	白石初段 (化 38)	真下七段 (機 36)	田口五段 (電 32)	海老原 2 級 (金 38)	20 名

## 会員名簿 (H21年 5月 9日現在)

加入連絡窓口 : 田中 栄太郎

Tel/Fax 0466-82-4988

幸道 貞一(22 専通)二段  
 野坂 賢司(22 専電)3 級  
 小白井 和典(28 学機)二段  
 関 英雄(28 学機)三段  
 高田 丈夫(28 学機)三段  
 近江 義勝(28 学電)4 級  
 照沼 清(29 学金)四段  
 石川 英二(30 学原)初段  
 山崎 慎一郎(31 学原)1 級  
 田崎 耕八(32 学電)二段  
 小室 秋生(32 学電)三段  
 田口 嘉男(32 学電)五段  
 山下 正明(32 学電)七段  
 穂坂 邦光(32 学金)初段  
 高橋 孝雄(32 学電)三段

笹生 右(36 学機)3 級  
 小波 倭文朗(36 学機)初段  
 真下 知行(36 学機)七段  
 小室 哲夫(32 学金)四段  
 岩田 正路(37 学機)二段  
 田北 嵩晴(37 学電)初段  
 上田 正雄(37 学電)三段  
 櫻井 衛(37 学機)三段  
 豊田 元雄(37 学機)三段  
 兼子 八郎(38 学電)二段  
 広瀬 行一(38 学電)二段  
 寺内 賢一(38 学電)三段  
 根本 勤(38 学電)四段  
 新沼 厚生(38 学電)五段  
 矢萩 久(38 学電)五段

海老原 雄二(38 学金)3 級  
 白石 道彦(38 学化)初段  
 矢嶋 國男(38 学精)二段  
 原 俊彦(39 学電)四段  
 高久 洋(40 学化)二段  
 田中 栄太郎(40 学化)四段  
 森 俊和(40 学化)六段  
 高橋 徹男(41 学精)五段  
 菅谷 禎男(42 学機)2 級  
 井上 宗治(42 学機)三段  
 山田 恵規(42 学電)四段  
 藤沼 隆夫(43 学機)三段  
 五十嵐 幸治(44 学子)

# 旧制水戸高校と 親善囲碁大会

高田 丈夫(昭28学機)

本大会は毎回千葉県支部、埼玉支部からの応援参加を得て、溜池山王の細川ビルで年2回行われています。

## 第3回:平成20年8月16日(土)

参加者:水高側12名、多賀工業会側13名。  
 4勝0敗 山下 正明、佐藤 隆義、高田 丈夫  
 3勝1敗 田口 嘉男、益子 洋一、  
 小白井 和典、粕谷 利夫  
 2勝1敗 高橋 孝雄  
 2勝2敗 兼子 八郎、関 英雄、幸道 貞一  
 1勝3敗 阿部 哲、石川 英二



<賞> 4戦全勝賞:山下、佐藤、高田の3氏  
 結果は多賀側の34勝17敗と又も偏った勝敗となりました。勝敗の偏りを補正するため、多賀工業会側会員の持ち点を5点程度加算することにしました。

## 第4回:平成21年2月21日(土)

参加者:水高側9名、多賀工業会側16名。  
 定着の感が見える事は多くの方々への支えによるものと、感謝申し上げます。多賀工業会側の出席者が多いので、多賀同士の対戦はやむを得ないとして、水高の方は出来るだけ多賀出席者と対戦する事とし、1人4局制で実施しました。結果は多賀出席者の32勝31敗となりました。前3回の碁会では多賀の圧勝となりハンデの調整に苦心してきましたが、ようやく出席する方々がハンデを気にせずに碁を楽しむ会に出来たと、幹事として少し安心しました。次回からは1勝+1点、1敗-1点の通常方法で持ち点を決めてゆきます。

4勝0敗 森 俊和、益子 洋一  
 3勝0敗 高橋 孝雄  
 3勝1敗 山下 正明、田口 嘉男、関 英雄  
 2勝2敗 佐藤 哲雄、兼子 八郎、幸道 貞一、  
 石川 英二  
 1勝3敗 照沼 清、高田 丈夫、粕谷 利夫、  
 白石 道彦  
 0勝4敗 上田 正雄、小白井 和典  
 <賞> 4戦全勝賞:森、益子の2氏  
 特別賞:高橋氏

第5回水高、多賀工業会囲碁会は8月29日(第5土曜日)の開催を約束しお別れしました。  
 次回も多数の方々への参加を期待しております。

# 山遊会

会長 菅谷禎男(昭42学機)

20年度は3回の山行を行い、12月6日には13名の出席を得て総会並びに忘年会を行いました。総会では、山遊会を創設し、これまで会の発展のために尽力されてこられた、知力、体力、経験ともに秀でた小宅仁(昭36学電)会長がご都合により会長を辞任されました。力不足ですが推薦により菅谷が会長を務めることになりました。皆様のご指導ご鞭撻のもと、精一杯がんばってまいりますのでよろしくご支援をお願いいたします。小宅会長には顧問として今までどおり会を引っ張っていただきます。なお、総会では会則及び運営要領の一部改正等を行いました。

会員は藤田勲(19専原)さん、朽本二郎(19専原)さんの大先輩を始め、40人弱ですが、これからも活発な活動をしていきます。本年もインターネット上のホームページ「多賀工業会東京支部」にて山行ごと参加者募集をしています。計画案を検討され、ご自分の体力等も勘案し、皆様奮って参加の申し込みをしてください。

## 1. 第21回 守屋山と高遠の桜日帰り登山 実施日:2008年4月19日(土)日帰り 企画及びリーダー:田崎耕八(昭32学電) 参加者:7名

絶好の登山日和となったこの日、9時10分中央線茅野駅に集合した参加者7名は2台の車に分乗し杖突峠登山口(駐車場)へと向かった。駐車場で軽くストレッチの後、9時45分登山を開始した。胸付き坂(斜面がきついところ)を過ぎクサリ場でピークとなるがクサリが無くても登れる程度で、11時30分東峰頂上1631.2mに到達した。展望を楽しんだ後、守屋山頂(西峰)1650.3m、12時5分に到達した。ここで昼食をとりしばし休憩する。1時50分キャンプ場着、ここで小休止、丁度芽が出ていた座禅草の写真を撮る。



3時前に駐車場に帰り着き第一目的地の守屋山登山は終了した。再び車に分乗し第二の目的地高遠城址公園へ向かって出発した。高遠城址公園に到着、大枚500円を払い入場した。公園内の1,500本の小彼岸桜が

今を盛りと咲きほこる風景はさすがに見応えがあった。園内見学の後、中央自動車道を一路、八王子へ、途中談合坂で軽い夜食をとる、途中渋滞もなく8時に八王子駅前に無事到着し解散、各自家路へと急いだ。

[東京支部 HP 報告書 (報告者: 矢野より) 抜粋]

## 2. 第22回 湯ノ丸山と四阿山一泊登山

実施日: 2008年6月21日(土)・22日(日)

企画及びリーダー: 田崎耕八(昭32学電)

参加者: 7名

国の天然記念物に指定されている湯の丸レンゲツツジ群落をみながら、湯の丸山(標高 2,101m)へ地蔵峠から登りました。このあと池ノ平湿原まで足をのびし、高山植物の女王といわれるそうですが金網で囲い守られているコマクサ園を見学しました。350名収容と言われる日本ダボスホテル山喜荘に泊まりましたが、雨天予報が出ていたので広々とした大食堂に客は我々のパーティだけでした。



四阿山(標高 2,354m)頂上の参加者全員

二日目は長野県の菅平高原ダボス牧場から花の百名山(田中澄江著)に選ばれている根子岳(標高 2,128m)、日本百名山(深田久弥著)に選ばれている四阿山(標高 2,354m)に登りました。根子岳から四阿山に向かう途中の十ガ原の笹原を過ぎてから、本降りとなり合羽着用を余儀なくされました。牧場の駐車場についてからの1杯300円の牛乳は何とも云えないおいしさでした。

真田温泉で汗を流してから、静岡から来られた前田さんと別れ、本体6人は小宅さんと林さんの車に分乗して上信越、関越、圏央道を走り、拝島駅で散会しました。長時間運転をされたご三方には本当に御苦労をおかけいたしました。

[東京支部 HP 報告書 (報告者: 兼子より) 抜粋]

## 3. 第23回 沼津アルプスと幕山梅林一泊登山

実施日: 2009年3月7日(土)・8日(日)

企画及びリーダー: 田崎耕八(昭32学電)

参加者: 15名

今回は静岡支部との合同開催で、静岡支部からは5名が参加、計15名での登山でした。連日、ピチヨピチヨの冷たい雨と強い風の悪天候でした

が、当日は曇り、7日8時42分、沼津駅南口改札口を出ると皆さんお揃いでした。バスで黒瀬まで行き、香陵台へ軽く上り、登山準備と簡単な自己紹介の後、登山を開始しました。

昨日までの雨にもかかわらず登りやすい道で9時50分には香貫山(193m)に着きました。



香貫山(193m)頂上で参加者全員

下っての八重坂峠からは急な上りとなり、道の左側にずっと張ってあるトラロープに掴まり登るのだが、道は粘土でぐちゃぐちゃの泥濘、滑るものだから腕の力で上らなければならない状況でした。悪戦苦闘して11時5分に横山(183m)に着き記念撮影、急な下り坂をトラロープに掴まりながら横山峠に下りたところで2名は無理をせずエスケープコースへと下りました。横山峠からは鎖を使った直登急坂の斜面、雨天でなくて本当によかった。広い芝生の山頂ではたくさんの方が昼食中でした。富士山の眺望はだめでしたが、曇り空ながら静浦漁港を眼下にした山頂からの景色が良くゆっくりできました。昼食後、ぬかるみで滑る道をロープ代わりに張った竹棒を手摺りにして志下坂峠へと下りました。ここで5名がエスケープコースへ下りましたのでチームは8名となりました。狭い尾根伝いに馬込峠、志下峠、大きな岩の下の中将宮を過ぎて14時40分に今回の最高峰の鷲頭山(392m)に到着、小休止の後、多比峠を過ぎて15時30分に多比口峠にたどり着きました。ここから太平山(356m)の往復(約30分)を6名が登り、16時10分に江浦湾の多比バス停へと下りました。宿泊の「KKR沼津はまゆう」には17時過ぎに到着しました。宿泊者は紅一点を加え、計12名でした。6時半からの宴会では3年前に実施した「草紅葉の尾瀬ヶ原と燧岳」登山のビデオ(前田勉(昭37学機)さん編集)が上映され、一層盛り上がりました。

8日は10名がバス、JR、バスと乗り継いで湯河原の幕山公園に向かいました。見ごろにはちょっと遅いかなという感じでしたが遅咲きの梅を見ながら、幕山登山を楽しみました。頂上(626m)では公園で買ったおにぎりを食べ、田崎リーダーが運んでくれた昨夜の焼酎をお湯割にして乾杯、あっという間の3時間半でしたが幕山公園に戻って缶ビールで喉を潤し、15時に湯河原駅で解散をしました

[東京支部 HP 報告書 (報告者: 菅谷より) 抜粋]



# ゴルフ同好会

幹事 小澤 茂 (昭 43 学 子)

年間行事として春秋 2 回のコンペと 5~6 月に 5 支部懇親コンペを開催しています。

(1) 平成 20 年 4 月 16 日 (水)

第 14 回 紫カントリークラブあやめ東コース  
参加者：18 名

(2) 平成 20 年 6 月 11 日 (水)

紫カントリークラブあやめ東コース  
4 支部 (東京 (今回幹事) 2、埼玉 2、千葉県 & 水戸勝田 1 の 6 チーム参加) 懇親コンペ  
(以上については会報第 11 号で既報)

(3) 平成 20 年 11 月 11 日 (火)

第 15 回 大厚木カントリー倶楽部桜コース  
参加者：15 名 (敬称略)

友保 (20 原)、酒井 (25 教)、玉川 (28 電)、  
上月 (36 機)、上田 (37 電)、磯部 (38 精)、  
大久 (38 電)、兼子 (38 電)、小林 (38 機)、  
駒場 (38 機)、北島 (39 機)、青野 (41 化)、  
小澤 (43 子)、佐藤 (43 子)、石川 (44 子)

優勝：小林、準優勝：大久、3 位：駒場

DC：小林 (2) ドラ短：玉川、駒場

NP：大久 (2)、上田、青野

小林さんが見事な 5 オーバーで上がり、常勝の上田さんを破って、ベスグロで 2 連覇を飾りました。

(4) 平成 21 年 4 月 16 日 (木)

第 16 回 紫カントリークラブあやめ東コース

参加者：17 名 (敬称略)

上月 (36 機)、真下 (36 機)、小林 (38 機)、  
駒場 (38 機)、大久 (38 電)、兼子 (38 電)、  
磯部 (38 精)、森 (40 化)、大泉 (40 精)、  
青野 (41 化)、小澤 (43 子)、佐藤 (43 子)、  
角田 (43 子)、千ヶ崎 (43 子)、野崎 (43 子)、  
五十嵐 (54 化)、二方 (55 精)

優勝：大久、準優勝：佐藤、3 位：二方

DC：青野、二方 ドラ短：佐藤、大泉

NP：磯部、佐藤、青野

大久さんが、小林さんの 3 連覇を阻止し、  
実力を発揮して初優勝しました。

尚、初参加 4 名の活躍は見事で、特に二方さんの 39 には全員が刺激されました。

(5) 平成 21 年 6 月 10 日 (水)

4 支部懇親コンペ：千葉県支部が幹事担当

藤代ゴルフクラブ 参加者：24 名

東京支部代表：8 名 (敬称略)

A：大久 (38 電)、小林 (38 機)、磯部 (38 精)、  
青野 (41 化)、

B：兼子 (38 電)、大泉 (40 精)、千ヶ崎 (43 子)、  
小澤 (43 子)

東京 A チームは、小林さん (2 位、BG) の  
活躍もあり準優勝となりました。

(6) 平成 21 年 11 月 18 日 (水) < 第 17 回 >

紫カントリークラブ あやめ東 9:30

参加者：募集中

連絡窓口 (入会歓迎です！)

小澤 茂 TEL: 045-861-6718

写真：H21-4-16 紫 C C あやめ東 汗を流し表彰式を終えて

後列左から 兼子、二方、森、五十嵐、千ヶ崎、角田、野崎、真下、磯部、佐藤

前列左から 小澤、青野、上月、大久、小林、駒場、大泉 (敬称略)





# 写真同好会

会長 小林 渡(昭38学電)

東京支部写真同好会「多賀いちょう写真部」は現在会員13名、年2回の撮影会を実施しております。埼玉支部「ワンダーフォトクラブ」と連携し相互の撮影会に参加、技術の向上、親睦を深めております。(文中敬称略します)

平成20年度の活動状況は以下の通りです。

## \* 「こうがく祭」写真展出版

平成20年5月31日(土) 10時~17時 工学部事務棟ロビーに展示。東京支部出展者5名、17点、南極昭和基地、チベット・ラサ、中国、ギリシャ、エーゲ海、日本、国際色豊かな傑作が出版出来ました。

## \* 秋の撮影会

平成20年9月23日(日) 馬事公苑「愛馬の日」で実施、昨年に続いて伝統の「流鏝馬」と共に勇壮な本場相馬の「甲冑競馬」、「神旗争奪戦」が実施され、撮影にも熱が入りました。参加者 玉川 信二(28学電)、山崎慎一郎(31学原)、澤野 孝慈(37学機)、小林 渡(38学電)、三好 成實(39学機)、石川 久(44学子)の6名です。

## \* 巾着田の彼岸花撮影会

埼玉ワンダーフォトクラブ企画

平成20年9月26日(金) 高麗の里 巾着田 曼珠沙華公園で実施、辺り一面咲き誇る彼岸花、今が身頃 撮影に夢中になりました。その後高麗神社に移動、帰りは遅くまで懇親会、楽しい一時を過ごしました。参加者 総勢11名 東京からは 小林 渡、三好 成實、石川 久の3名が参加しました。

## \* 秋の撮影会2

平成20年10月19日 蔵の街、小江戸、川越市「川越祭り」で実施、石川 久参加。

## \* 本土寺の紅葉撮影会

埼玉ワンダーフォトクラブ企画

平成20年11月30日(日) 紅葉寺として有名な松戸市本土寺で実施。参加者16名、東京から鈴木 日出男(30学原)、小林 渡、三好 成實が参加しました。

## \* 平成21年度支部会報表紙に掲載する写真選定と講習会の開催

平成21年2月21日(土)に東京知道会事務所にて実施し、三好 成實氏(39学機)作品「アンダマンの夕日」を支部会報表紙に選

定しました。

鈴木日出男顧問が講師となり、「カメラ振り・ホワイトバランス・撮影テクニックのそれぞれについて」の講習会を実施しました。

## \* 会員活動状況

齋田和夫(28学機)、鈴木 日出男は全日写連埼玉県本部大宮支部、小林 渡は同神奈川県本部旭支部、堀口正治(44学子)は同茨城県那珂支部に属しそれぞれの活動をしておりません。

## \* 平成20年度の主なニュース

- ・ 齋田 和夫、6月、「第58回埼玉県展」入選、8月、米国「オレゴン州国際写真展」2作品入選、9月、「全日本モノクロ写真展」入選。
- ・ 鈴木 日出男、6月、「第58回埼玉県展」入選、9月、「第25回埼玉県サロン展」奨励賞、9月「彩の国プラチナフェスティバル高齢者創作展」写真の部 埼玉県知事賞。
- ・ 小林 渡、7月「古都鎌倉から湘南大磯撮影会」特選、「全日写連神奈川県本部7月度例会」特選、11月「第2回神奈川の風景フォトコンテスト」入選、11月「第53回全神奈川写真サロン公募展」特選。
- ・ 堀口 正治、11月「第23回国民文化祭いばらぎ」写真の部入選。

\* 入会のご案内 特にデジタルカメラに興味の方 歓迎します。撮影会の案内は東京支部HPに掲載しております。

## 連絡窓口 小林 渡

TEL/FAX 045-363-0785

E-mail : koba-wt@nifty

写真 : 写真同好会会合 平成21年2月21日  
前列左から 玉川、菊地、三本木、鈴木  
後列左から 小林、三好、山崎、高橋



平成 20 年度多賀工業会東京支部総会時写真展 出展作品一覧

氏名	卒年・科	題名	撮影場所	備考
斎田 和夫	昭 28 学機	灯を点す	ネパール	2006年モノクロモノトーン展準特選
		狭い通路	ベトナム	2007年 JPA 展会員出展
玉川 信二	昭 28 学電	梵天騎鳥像		
		ターラー菩薩坐像		
鈴木 日出男	昭 30 学原	ふれあい	チベット・ラサ	第 56 回埼玉県展入選
		朝日と遊ぶ	豪州・ゴールドコースト	第 25 回埼玉県写真サロン展奨励賞
山崎 慎一郎	昭 31 学原	港に活	いわき市・小名浜漁港	
		馬高く	馬事公苑	
澤野 孝慈	昭 37 学機	グルメ猫	袋田温泉	2006 年全神奈川写真サロン展審査員特別賞
		エーゲ海の太陽	エーゲ海クルーズ船上	2005 年全神奈川写真サロン展入選
		シー・ブリーズ	横浜・ベイサイドマリーナ	
小林 渡	昭 38 学電	修業僧	鎌倉・建長寺	2007 年全神奈川写真サロン展入選
		渚に遊ぶ	鎌倉・由比ヶ浜	2008 年全日写連神奈川県本部月例会特選
		不思議な鏡	秋田・湯沢市	2008 年全日写連神奈川県本部月例会入選
三好 成實	昭 39 学電	ひっそりと・・・	町田市・薬師池	
		かたぐるま	川崎大師風鈴市	
高橋 伸二	昭 41 学機	夜明け	静岡県・田貫湖畔	
		やさしく散歩	下妻市・小貝川河川敷	
		踊る女	秋田県羽後町・西馬音内	
石川 久	昭 44 学子	流鎗馬	馬事公苑	
		愛馬の日		
		神旗争奪戦		
堀口 正治	昭 44 学子	地球讃歌	南部アフリカ	第 23 回国民文化祭 いばらぎ 2008 入選
		大地の詩	ザンビア共和国	
		ヒマラヤの残照	ネパール連邦民主共和国	
		空中給餌	茨城県那珂市自宅	2008 年全日写連那珂支部月例会一席

写真展示風景



# こうがく祭写真展示会見学記

石川 久(44 学子)

平成 21 年 6 月 6 日(土)茨城大学日立キャンパスにおいて「こうがく祭+オープンキャンパス」が開催され、埼玉支部ワンダーフォトクラブと東京支部多賀いちょう写真部は写真展に参加しました。身近な研究活動、サークル活動を通して、大学と地域との密接な交流を促進することも一つの目的で、開催は今回を含めて 4 回目とのことです。我々 OB も写真撮影を通して多賀工業会の支部活動を在学生・教職員・地域の方々に理解して頂くために 2 度目の参加となります。展示は多賀工業会館の多目的ホールで行われ、国内外の写真展等で発表された作品に加え入賞はしなかったものの各自腕自慢の写真が数多く展示されました。

久しぶりに日立キャンパスを訪れましたが、いまは立派に整備された校舎が建ち並び、私たちが通った昭和 40 年代の木造校舎の面影はなく、鉄筋コンクリート造りの立派な校舎が並び、緑の木々も増えたように思えました。構内にはいわゆる大学の学園祭らしく、焼きそば、たこ焼きに代表される模擬店が出展され、活気に満ち溢れていました。

図 1 写真展入口状況



図 2 賑う日立キャンパス



オープンキャンパスの名の通り、在学生はもとより一般の方々、卒業生、近隣の大学・高校生等を対象にしたイベントも多く、風鈴作りコーナーや空手演舞コーナーも開かれていました。各建物の中では研究室が日頃の研究活動や研究の成果を紹介しておりました。

図 3 改築された多賀工業会館(写真展会場)



図 4 写真同好の虫と写真展示



写真は改築されたばかりの多賀工業会館多目的ホールで展示されました。作品は合計で 43 点ですが、国内で撮られた風景や海外で撮られた風景を単写真や組写真で表現されたものでした。埼玉支部・東京支部の写真同好の虫は、前日雨にもかかわらず五浦海岸に集まり撮影会を行い駆けつけました。こうがく祭の写真展示では、それぞれの作品を評価し合っとても楽しそうでした。埼玉支部からは白石幹事長、東京支部から三本木幹事長が見学に来ておられました。また、多くの来場者が、変化に富んだ作品に興味深そうに見入っておりました。栃木県支部の方々が貸切バスで大勢来られ、びっくりしました。また、中部支部からも見学に駆けつけられ、作品の題名、作者や卒業年度を確認ながら懐かしそうに鑑賞されていたのが印象的でした。

茨城大学を盛り上げる一方法として、遠方に住む OB が写真展を開くことは効果があるものの、このような機会を通して、多賀の地に OB が集まることを企画し実施した本部および各支部の幹事の方々の配慮に感謝するとともに、今後写真展以外にも普及させ、それを積み重ねることが、多賀工業会の役割となると思う次第です。

**東京支部の写真出展者:**鈴木 日出男(30 学原)、山崎 慎一郎(31 学原)、澤野 孝慈(37 学機)、澤野 弘(38 学精)、小林 渡(38 学電)、堀口 正治(44 学子)、石川 久(44 学子)



# 快舞会

幹事 瀬在 城雄(昭31学原)

快舞会は平成19年5月17日に初会合を行って以来、会員5名と特別会員の女性3名を含め現在8名で活動しています。

定例ダンスパーティは年4回実施し、1回は1泊2日のダンス旅行を行うことにしていますが、定例以外に年1~2回程度は他のダンスグループ主催のパーティに参加しています。またダンスの後は懇親会を行ない、会員相互の親睦を深めています。

平成20年度の活動状況ならびに今年度の活動は次の通りです。

第9回 平成20年4月26日(土) 前号で既報

第10回 平成20年7月16日(木)

杉並公会堂 B2F グランサロン

参加者：8名 明石和夫(22 専金)、成井 浩(30 学原)夫妻、柳澤 裕(28 学原)、瀬在夫妻、佐藤久弥(30 学機)夫妻

第11回 平成20年10月26日(月)~27日(火)

鬼怒川グリーンパレスホテル。ホテル主催の「紅葉のムーンナイト・ダンスパーティ」

参加者：8名 写真後列左より 瀬在、佐藤、柳沢、明石、成井 前列はご夫人左より 佐藤、瀬在、成井

快舞会初のダンス旅行が実現でき、ゴージャスな会場で一流プロの優雅なダンスを見たり、またフリータイムでは生演奏の音楽でダンスを楽しみ大満足でした。

ダンス終了後は部屋に戻り、21年度の活動方針等についてミーティングを行いました。

第12回 4月16日(金)

東宝ダンスホール(有楽町ツインタウ-)

参加者：8名 明石(場所推薦)、成井夫妻、柳澤、瀬在夫妻、佐藤夫妻

今回は昨年ダンス旅行以来の再会でした

## 編集後記

(1) 去る7月4日(土)水戸市でH21年度多賀工業会理事会と総会(水戸勝田支部総会と合同)が開催され新役員が決まりましたので、お知らせします。

新会長=木曾正明(29学電) 新副会長=舛井正義(37学電・水戸勝田支部) 臼井敏雄(40学電・日立総合支部)

新理事(新支部長)=大和田武義(32学電・千葉県支部)、高橋昌之(44学精・関西支部)、寒風澤毅(41学機・静岡支部)、秋山光庸(34学原・栃木県支部) (三本木)

### 編集担当委員

鈴木 日出男(昭30学原) 三本木 武(昭30学金)  
山崎 慎一郎(昭31学原) 兼子 八郎(昭38学電)  
小林 渡(昭38学電) 菅谷 禎男(昭42学機)  
小澤 茂(昭43学子) 石川 久(昭44学子)

が、今回も全員参加でパーティ終了後懇親会を行いました。柳澤さんから今後の活動予定案の説明がありました。

第13回 5月16日(土)

シノダ・スポ・ツ・ダンスクラブ(新宿御苑前)で柳澤さん推薦のスプリングパーティ

参加者：9名 明石、成井夫妻、柳澤、瀬在夫妻、佐藤夫妻、大谷和子(瀬在の従妹特別参加)

男女プロの先生方が会員と積極的に踊って頂き好評でした。

第14回 7月上旬 杉並公会堂

第15回 9~10月頃 ダンス旅行

第16回 12月上旬 忘年会を兼ねて開催

## 入会等のご案内

上手下手を問わず、愉しく、明るく、美しく健康と長生に貢献する社交ダンス<快舞会>に是非ご入会下さい。

快舞会についての問い合わせ、入会ご希望の方は下記宛てにご連絡ください。

## 連絡窓口：

柳澤 裕 TEL/FAX 03-3999-5767  
瀬在 城雄 TEL/FAX 0422-46-5208



(2) 会報編集室では新たに小澤さんを迎え下記メンバーで今号の発行にこぎつけました。昭和30年代から40年代に軸足を移すべく、マニュアルの作成など新しい取り組みを始めています。来年は総会も第30回を迎えますので、一皮剥けた会報を目指し検討中です。編集委員も募集中です。

上記の一環として会報表紙の写真を募集します。自由作品としますが、詳細は写真同好会連絡窓口(24ページ参照)にお問い合わせ下さい。第13号向け締め切りは平成22年5月末日とします。沢山の方の応募をお待ちしています。

幻の瀧となりぬる不二のゆき

(兼子)

### 多賀工業会東京支部会報 [第12号]

発行 平成21年8月22日  
発行者 支部長 近江 義勝  
〒113-0032 東京都文京区弥生2-8-6  
TEL & FAX 03-3811-7088

# 平成21年度多賀工業会東京支部 組織体制と担当役務

- 顧問 幸道 貞一（昭22通）、渡辺 貢（昭26原）
- 支部長（兼本部副会長） 近江 義勝（昭28電）
- 副支部長 鈴木 日出男（昭30原）、上月 秀俊（昭36機）
- 幹事会
- 幹事長 三本木 武（昭30金）
- 副幹事長 広瀬 行一（昭38電）
- 会計幹事 菅谷 禎男（昭42機）
- 事務局長 駒場 方耀（昭38機）
- 監事 榊原 康夫（昭32原）、小宅 仁（昭36電）
- 会報編集室 編集室長 兼子 八郎（昭38電）
- 副編集長 小林 渡（昭38電）、菅谷 禎男（昭42機）、石川 久（昭44電子）
- ホームページ編集室 編集室長 矢野 睦男（昭32原）
- 副編集長 飯塚 英一（昭46電）、小林 渡（昭38電）、兼子 八郎（昭38電）
- 名簿編纂室 編纂室長 大泉 雅靖（昭40精）
- 副編纂室長 兼子 八郎（昭38電）
- 昭16年から26年担当 菊地 玲二（昭26通）
- 昭28年から35年担当 小宅 仁（昭36電） 注）27年卒は無い。
- 昭36年から45年担当 駒場 方耀（昭38機）
- 昭46年から50年担当 大泉 雅靖（昭40精）
- 昭51年から55年担当 広瀬 行一（昭38電）
- 昭56年から60年担当 菅谷 禎男（昭42機）
- 昭61年から平成7年担当 石川 久（昭44電子）
- 平成8年以降担当 飯塚 英一（昭46電）
- 幹事会事務局の構成と役務
- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 上月 秀俊（昭36機） | 全般事項担当          |
| 広瀬 行一（昭38電） | 主に総会及びその他全般事項担当 |
| 兼子 八郎（昭38電） | 主に会報、ホームページ担当   |
| 大泉 雅靖（昭40精） | 主に名簿担当          |
| 菅谷 禎男（昭42機） | 主に会計担当          |
| 駒場 方耀（昭38機） | 主に幹事会担当         |
- 同好会
- 囲碁部 部長 田中栄太郎（昭40化）、副部長 山田 恵規（昭42電）
- ゴルフ部 部長 青野 潔（昭41化）、副部長 小澤 茂（昭43電子）
- 写真部 部長 小林 渡（昭38電）、副部長 三好 成實（昭39機械）
- 山遊部 部長 菅谷 禎男（昭42機）、副部長 田崎 耕八（昭32電）
- 社交ダンス部 部長 瀬在 城雄（昭31原）



**私たち大協印刷は、**  
**印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。**  
**ぜひ一度ご相談ください。**

**大協印刷株式会社** 〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14  
 TEL:03-3837-5291 / FAX:03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp <http://www.daikyo-print.co.jp>


# 「東京支部会則」

(平成16年10月23日改正)

## 第1章 総則

第1条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

## 第2章 事業

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共励共助
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目標達成のため必要と認める事項

## 第3章 会員

第4条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

## 第4章 役員

第5条 本会は次の役員を置く。

支部長 1名  
副支部長 若干名  
幹事長 1名  
幹事 若干名  
会計幹事 1名  
監事 2名  
その他(同好会幹事、相談役、顧問など) 若干名

第6条 役員は、次の方法によって定める。

支部長は、幹事会の互選とし総会での承認を得るものとする。

支部長以外は、支部長が推薦し、現幹事会の決議を得るものとする。

第7条 役員の仕事は、次の通りである。

支部長 本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。

副支部長 支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。

幹事長 幹事の業務を統括する。

幹事 会の運営業務を夫々分担して遂行する。

会計幹事 本会の収支、及び会計を担当する。

監事 会計を監査し総会で報告する。

同好会幹事 同好会毎に部長、副部長等を定め、自主的に運営する。

相談役 支部長の相談に応ずる。

顧問 支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第8条 役員の仕事は2年とし、重任を妨げない。

## 第5章 会議

第9条 支部総会は、原則として毎年10月に開催す

る。但し、必要に応じ臨時支部総会を開くことができる。

第10条 支部総会は、次の事項について審議し、出席者の過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第11条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年4回(2、5、8、11月の第4土曜日)開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が臨時に召集し開催できる。

第12条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の3分の2以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員決定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告案並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

## 第6章 会計

第13条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第14条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第15条 本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条 本会の収支は、会計幹事が担当し、監事が会計監査を行い総会に報告する。

付則 本会則は、平成16年10月23日より施行する。

## 細則規定

第1条 年会費は、2,000円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。但し、一旦納入の会費は返還しない。

第2条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者(但し、5年連続未納者には6回目に通知し以降配布を停止する)
- (2) 支部総会参加者
- (3) 東京・神奈川に在住・在勤の直近3年間の卒業生
- (4) 配布希望者で支部長が許可した者
- (5) その他多賀工業会本部及び支部等の関係者

第3条 総会開催の案内は、会報にて発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第2条の対象者以外にも広げて発送する。

第4条 慶弔規定は別途定める。

第5条 80歳到達の役員経験者に記念品を贈呈することが出来る。

第6条 本細則の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は平成16年10月23日よりより施行する。平成20年5月24日に第5条を追加し、旧第5条は第6条に繰り下げとした。

# ソフトロニクス株式会社

《産業用ブラシレスモータ／マイコン制御ドライバの専門メーカー》



お気軽にご連絡ください

- 用途 ◆各種自動機用モータ  
◆電動アシスト用モータ  
◆ディスク検査製造用モータ  
◆速度制御及び位置制御用モータ・ドライバ  
◆超精密用エアベアリングモータ

〒338-0821 さいたま市桜区山久保1-8-2  
TEL 048-855-4321 FAX 048-855-5577  
URL <http://www.softronics.co.jp>  
E-mail [uzuka@softronics.co.jp](mailto:uzuka@softronics.co.jp)

代表取締役 宇塚光男 (昭45電気工学科卒)



**CYBER LINKS**

取締役会長 村上正義 (原動S18)

代表取締役社長 村上恒夫

株式会社サイバーリンクス

*WILL makes anything*

本社 〒641-0012 和歌山市紀三井寺849-3 TEL 073-448-3600(代) FAX 073-448-3609

各部門  
通信システム事業部 TEL 073-448-3610 FAX 073-448-3619  
地域ネットワーク事業部 TEL 073-448-2517 FAX 073-448-3639  
カスタマサービス事業室 TEL 073-448-3640 FAX 073-448-3649  
モバイルネットワーク事業部 TEL 073-448-3680 FAX 073-448-3689  
リテイルネットワーク事業部 TEL 073-448-3660 FAX 073-448-3669

各事業所  
東日本支社 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 HORIZON.1ビル5F TEL 03-5285-3711 FAX 03-5285-3700  
西日本支店 〒530-0056 大阪市北区兎我野町6-12 NTT西日本兎我野ビル4F TEL 06-6316-8288 FAX 06-6316-0075  
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6 第3博多倍成ビル3F TEL 092-432-2690 FAX 092-432-2692  
田辺営業所 〒646-0032 田辺市下屋敷町31番地1 テレコムビル5F TEL 0739-26-1300 FAX 0739-81-3225  
新宮営業所 〒647-0014 新宮市浮島1番28号 中本ビル2F TEL 0735-22-6887 FAX 0735-22-7180  
仙台オフィス 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-5 タカノボル第25ビル12F TEL 03-6413-0350 FAX 03-3558-3055  
MDBセンタ 〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-6-22 城北センター3F TEL 03-6413-0350 FAX 03-3558-3055

新世代の超精密加工をシステム化する



The NEXSYS™ Corporation

新世代加工システム株式会社

Materials Micro-Fabrication Research



NEXSYS, Creators of New Generation Ultra-Precision Fabrication System.

- ◆ELID鏡面研削を中心とした各種試験加工受託及び加工データの提供、特種試験加工、試験研究を受託致します。
- ◆ELID研削システムの開発・製作及び販売
- ◆ナノプレジション加工システム化事業
- ◆特注部品の試作・製作及び検定
- ◆マイクロ加工・特種加工ツールの開発・製作及び販売
- ◆セメントコンパレータ事業
- ◆マイクロ加工研究会事務局

代表取締役社長 大森 宮次郎 (学機35 工学博士 茨城大学名誉教授)

取締役 福原 茂夫 大森 整 吉川 研一

本店:  
〒101-0054 東京都千代田区錦町3-17 (廣瀬ビル9F)  
TEL.03-5217-2281, FAX.03-5217-3032

連絡事務所:  
東京都板橋区加賀1-7-13  
TEL.03-5943-7966, FAX.03-5943-7977

埼玉事業所:  
埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台2-664-8  
TEL/FAX.0480-78-2545

<http://www.nexsys.co.jp>

E-mail : [nexsys@nexsys.ne.jp](mailto:nexsys@nexsys.ne.jp)